

令和8年度

江東区立図書館 サービス計画

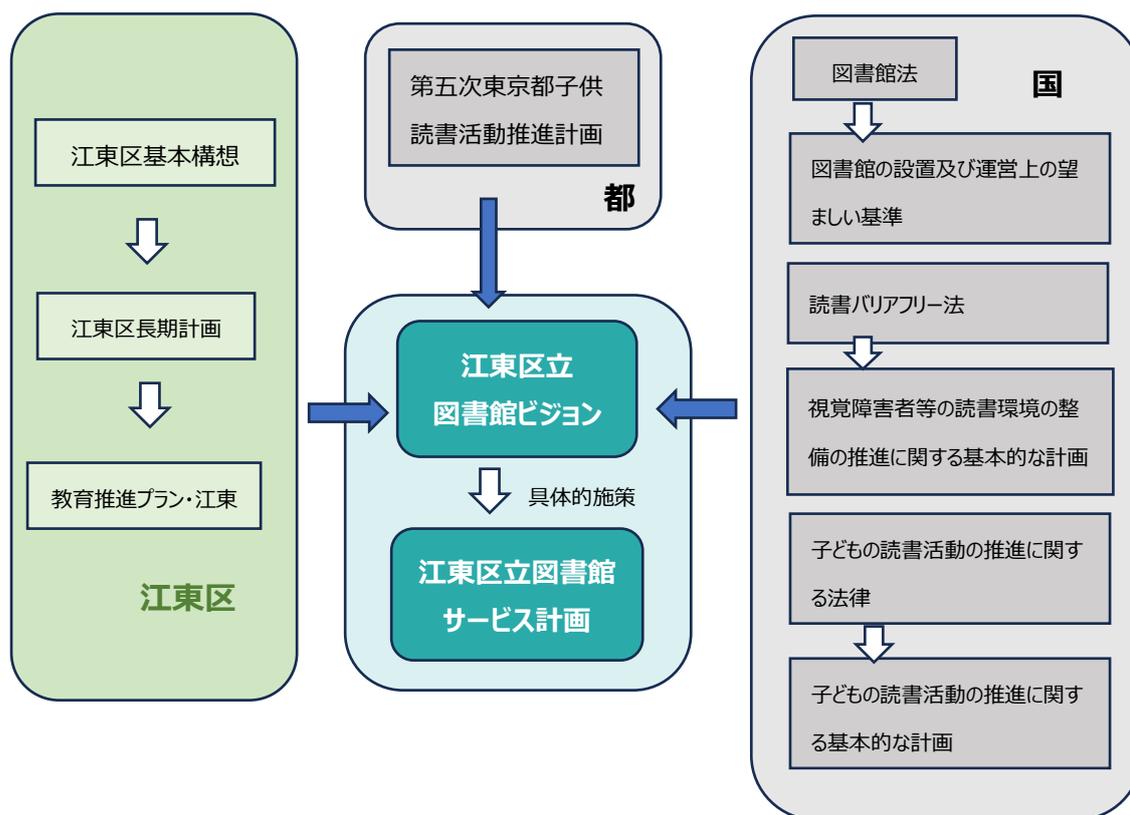
江東区立図書館サービス計画の概要

1. 江東区立図書館サービス計画とは

江東区立図書館では、多様化する利用者ニーズや社会の変化に対応し、図書館が地域社会において果たすべき役割を担うため、「江東区立図書館ビジョン」を令和8年3月に策定しました。

サービス計画とは、図書館が提供するサービスや機能を体系的に整理し、利用者のニーズや地域の課題に応じて、どのようにサービスを展開していくかを示す計画のことです

2. 計画の位置づけ



3. 計画の期間

江東区立図書館ビジョン：令和8年4月1日～令和13年3月31日の5カ年

江東区立図書館サービス計画：毎年度作成

基本理念・5つの柱

「集い、学びが深まる、知と安心の図書館」



人々が自然と集い、出会いや交流が生まれることで、多様な価値観に触れ、学びを深めることを目指し、読書を通じて、読解力・想像力・思考力・表現力といった「新しい時代に必要となる資質・能力を育みます。

図書館をあらゆる世代の子どもたちや区民が安心して利用できる「居場所」と位置づけます。

郷土の歴史・文化から多様性まで、幅広い知識へのアクセスを確保するために、質の高い蔵書構成を実現します。

【柱】

- 
1. 子ども
 2. 多様性・包摂・共生
 3. 学び・探求・安心の場
 4. 地域・歴史・文化・郷土
 5. 図書館DX

施策一覧

柱1 こども		
方向性	番号	施策
1.本との出会いづくり	1	おはなし会の充実
	2	年齢に応じたイベントの拡充
	3	本と触れ合う機会創出
	4	保護者のための子育て支援
2.好奇心を育む読書活動の充実	5	読書習慣の形成
	6	授業等の読書活動支援
	7	図書館とつながる社会的な学び
3.中高生の利用促進	8	中高生向け資料の拡充・活用
	9	主体的な関わりの促進
4.児童サービス対応力の向上	10	研修や実践を通じた対応力の習得

柱2 多様性・包摂・共生		
方向性	番号	施策
1.多様化する利用者支援	11	多様化するニーズに応えるイベントの充実
	12	多文化・多様性に関する情報提供
2.誰もが読書できる環境づくり (読書バリアフリー)	13	アクセシブルな書籍の拡充
	14	情報支援の強化
	15	読書支援における関係機関との連携
	16	音訳者・点訳者の支援・養成
3.基礎理解と接遇スキルの習得	17	利用者対応力の向上

柱3 学び・探求・安心の場		
方向性	番号	施策
1. 学びの機会の提供	18	図書館施設の整備
	19	ライフステージに応じた学びの支援
	20	探究的学習（調べ学習、STEAM教育など）を支える取組
	21	学べる学習環境
2. 居心地の良い環境づくり	22	目的に応じた空間の見直し
3. 読書・地域資源を生かした地域課題・レファレンスへの対応	23	課題解決サービスの提供
	24	区民、地縁団体との連携
	25	歴史・文化的な資料の収集・活用
	26	地域資源の活用促進
4. 専門性を活かした支援	27	図書館職員の人材育成

柱4 地域・歴史・文化・郷土		
方向性	番号	施策
1. 文化的つながりの形成	28	文化交流拠点としての機能拡充
	29	地域活動団体との連携強化
	30	学童集団疎開や戦争に関わる資料の充実・活用
2. 郷土愛を育む活動の充実	31	地域に関わる講座の実施
	32	地域資料の収集・活用

柱5 図書館DX		
方向性	番号	施策
1. デジタル化による資料の充実	33	貴重資料のデジタル化及び公開
	34	電子書籍の拡充・活用
	35	関係機関と連携した情報発信
2. 積極的な情報発信・収集	36	対象者に合わせた情報発信の展開
	37	DXを活用したシステム更新および利便性の向上
3. 住民の図書館ニーズの把握	38	図書館に関する意見集約と分析

施策の体系

1. こども

- 2. 多様性・包摂・共生
- 3. 学び・探求・安心の場
- 4. 地域・歴史・文化・郷土
- 5. 図書館 DX

基本目標 1

**読書を楽しみ自らが学び考え、
自分らしく生きる力を育む**

【旧計画】

第三次江東区こども読書活動推進計画（以下：第三次）

江東区立図書館経営方針（以下：経営方針）

方向性 1

本との出会いづくり

幼少期から本に親しむ機会を提供することで、図書館利用への意識を育み、読書習慣の基盤を形成することを目指します。年齢に応じたイベントや保護者支援を通じて、子どもたちが自然に本と触れ合う環境を整えます

施策 1 : おはなし会の充実

おはなし会の回数や開催場所を充実することにより、子どもたちがより多くの場面で本に親しむ取り組みを目指します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
第三次	乳幼児	No11:読み聞かせの実施	こども家庭支援課、保育課 指導室（幼稚園）、図書館	障害者施策課、 保健予防課
第三次	小中学生	No19:読み聞かせ・ブックトークの実施)	学務課、指導室（学校） 地域教育課、図書館	障害者施策課

図書館名	内容
江東	毎週水曜日のおはなし会にスタンプラリーを開催し、参加することへの動機づけを行います。また、学校訪問でおはなし会スタンプラリーを近隣小学校に広報します。
深川	おはなし会に参加する幼児へ台紙を配布し、参加する度に台紙へ記録し参加することへの動機づけを行います。
深川	幼児・小学生向けおはなし会を土曜日に開催し、より参加しやすい状況を作ります。
深川	読み聞かせボランティアを子育て関連施設等へ派遣し、読み聞かせを実施します。
深川	読み聞かせボランティアを江東きっずクラブへ派遣し、読み聞かせを実施します。
東陽	赤ちゃん向けおはなし会、幼児・児童向けおはなし会をそれぞれ週 2 回ずつ定期開催します。
東陽	夏と冬に、季節に応じた内容のスペシャルおはなし会を開催します。
豊洲	豊洲独自の「おはなしのへやキッズボランティア」を組織し、対面読み聞かせや季節のおはなし会など地域のこどもの読書推進活動を行います。

図書館名	内容
東雲	七夕、怪談、ハロウィン、クリスマスなど、季節にそったおはなし会、テラスを活用した青空おはなし会を実施します。
東雲	赤ちゃん向けおはなし会、幼児・小学生向けおはなし会を週 1 回ずつ定期開催します。
東雲	サインージ、SNS やチラシを利用しておはなし会の開催日程を周知します。小学生には学校訪問時に案内を配布します。
古石場	七夕やクリスマスなど季節を感じるおはなし会やかかぐえほんおはなし会など多様なおはなし会を開催します。
古石場	近隣小学校への学校訪問や児童館イベントなどで読み聞かせを行います。
城東	週 1 回のおはなし会、月 1 回の赤ちゃんおはなし会を実施していきます。また、児童コーナーでおはなし会を開催し、参加しやすい環境を整えます。
城東	季節のおはなし会や多言語おはなし会を開催し、楽しく絵本に触れる機会を作ります。
亀戸	「赤ちゃん向けおはなし会」や「児童向けおはなし会」を毎月、定期的で開催し、子どもたちに本に親しむ機会を提供します。
砂町	「赤ちゃん向けおはなし会」や「児童向けおはなし会」を毎月、定期的で開催します。さらに、学校訪問や招待おはなし会をタイムリーに実施することにより、子どもたちに本に親しむ機会を提供します。
東大島	幼児向けに毎週水曜日、乳児向けに第 2・4 木曜日、ファミリー向けに不定期第 3 日曜日を定期開催し、いつでもおはなし会に参加できる環境を維持します。
東大島	幼稚園・保育園向けとして招待おはなし会の開催継続と、利用拡大のための案内を各施設に実施します。
東大島	担当小学校に向けた出張おはなし会を継続します。また担当小学校のなかよし学級やブリッジスクール（小学生）・特別支援学校への出張おはなし会の P R を行って開催希望を募ります。
こどもプラザ	読み聞かせボランティアと連携し、乳児と保護者向けの赤ちゃんおはなし会を毎週木曜日に実施します。
こどもプラザ	子ども家庭支援センターのみずべ事業に協力して図書館スタッフが読み聞かせを実施する「おはなしタイム」を年 6 回開催します。
こどもプラザ	子育て中の保護者と乳幼児向けに「絵本でブックトーク」を定期的で開催します。
こどもプラザ	8 月・1 2 月に夏休みのこわいおはなし会やクリスマスおはなし会の開催の他、こうつう安全おはなし会などを開催し、第 5 水曜日にはスペシャルおはなし会を実施します。
こどもプラザ	読み聞かせボランティアと連携して、幼児・小学生向けのおはなし会を毎週水曜日に実施します。

図書館名	内容
こどもプラザ	読み聞かせボランティアと連携して、毎月第1・3土曜日に「よむよむさん」おはなし会を開催します。
こどもプラザ	隣接する特別養護老人ホームから高齢者の有志にお越しいただき、読み聞かせをしていただく、多世代交流・高齢者の生きがい創出にもつながるおはなし会を実施します。
こどもプラザ	近隣保育園・幼稚園・小学校の招待おはなし会を実施し、こどもプラザ図書館への利用誘導につなげます。
有明こども	定例おはなし会や季節に合わせた特別なおはなし会、近隣施設でのおはなし会を開催します。

施策 2 : 年齢に応じたイベントの拡充

興味関心に応じたイベントを実施することで、図書館に足を運ぶきっかけづくりや利用の定着を図ります。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	小中学生	No20:小中学生向けのイベントの実施	図書館	—
第三次	高校生等	No 8 :高校生等向けイベント実施	図書館	—

図書館名	内容
江東	「ぬいぐるみおとまり会」「映画上映会」他、乳幼児・保護者が楽しめるイベントを開催します。読書推進施策として、こどもたちへの読書の関心・興味の向上を目的として「読書手帳」を配布します。
深川	おはなし会以外のこども向けのイベント（映画会など）を随時開催し図書館に足を運んでもらう機会を作ります。
深川	中学生の図書館利用を促進するため、参加型のイベントを実施します。
東陽	幼児・児童向け、中高生向けの各世代の興味を引く工作会を実施します。
東陽	図書館の活用方法や図書館の仕事をゲーム形式で学べるイベントを開催し、情報収集の基礎やメディアリテラシーを身に付ける支援を行います。
東陽	普段聞くことが出来ない仕事の裏側を知る「お仕事講座」を開催し、将来の働き方や憧れの職業について考える機会を提供します。
東陽	各世代向けの、楽しみながら本とつながるイベントを開催します。
豊洲	豊洲市場や豊洲ぐるりパークなどと連携し、その特色を生かしたおはなし会やイベント等を実施します。
東雲	小中学生がお金についての理解を深められる講座を行います。
東雲	中高生向けワークショップなどの参加型イベントを実施します。
東雲	幼児向けにぬいぐるみお泊り会を実施し、図書館への興味を育みます。
東雲	乳幼児から小中学生まで気軽に参加できるシールアートを開催し、知育や創作への関心を持つ機会を提供します。
古石場	工作会などを開催し関連資料を展示することで図書館への来館を促します。
古石場	図書館理解につながるよう書架を巡り本や図書館用語をモチーフにした謎ときイベントを実施します。
古石場	利用促進のため YA 世代向けのイベントを実施します。

図書館名	内容
城東	図書館見学ツアーの実施など、図書館への理解や興味を深める機会を作ります。
城東	江東区の企業や事業者と連携した子ども向けイベントを実施し、小中学生の興味関心に応えます。
城東	中学生・高校生向けのイベントを実施し、YA 世代の図書館利用を促します。
亀戸	季節に因んだイベントやワークショップを開催し、図書館利用に繋がります。
砂町	児童の来館のきっかけづくりとして、通常では体験できないイベントを開催（図書館×ヒーロー、マジシャン等）し、図書に接する機会増加と図書への関心を高めるよう働きかけていきます。
東大島	幼児向けにおはなし会と工作を交えた「季節のお楽しみ会」や、図書館に興味を持ってもらうイベントとして「ぬいぐるみおとまり会」を実施します。 新たな図書館利用やおはなし会参加を促進する PR イベントとして、「はじめてのおはなし会」を実施します。
こどもプラザ	「ぬいぐるみおとまり会」「アニメ上映会」他、乳幼児・保護者が楽しめるイベントを開催します。
こどもプラザ	読書推進施策として、こどもたちへの読書の関心・興味の向上を目的として「読書手帳」を配布します。
こどもプラザ	小学生の読書活動推進策として、絵本作家、児童文学作家による講演会やワークショップを開催します。
こどもプラザ	小学生を対象に定期的に工作会やこプラ実験教室、折り紙教室などの行事を開催します。
こどもプラザ	中高生～YA 世代を対象とした作家講演会や講座、朗読会を開催します。
有明こども	工作会や謎解きなど、年齢に応じたイベントを開催し、楽しみながら学びのある時間を共有できる環境づくりを推進します。
有明こども	児童図書コーナーのプロジェクター、スクリーンを活用した映画会などの事業を開催し、図書館来館のきっかけ作りとします。

施策 3 : 本と触れ合う機会創出

図書館におけるおすすめ本の展示や子ども家庭支援センター、児童館、保育園、幼稚園など関連施設と連携することで、本に触れる機会を広げ、読書への親しみと習慣を育みます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	乳幼児	No1:ブックリストの作成	図書館	—
第三次	乳幼児	No2:健康診査におけるブックリストの配布	保健予防課	図書館
第三次	乳幼児	No15:読書コーナーの設置	こども家庭支援課、保育課、指導室(幼稚園)	—
第三次	小中学生	No5:ブックリストの作成	図書館	指導室(学校)
第三次	小中学生	No24:読書コーナーの設置	青少年課、地域教育課	—
第三次	高校生等	No3:ブックリストの作成	図書館	—
第三次	高校生等	No12:読書コーナーの設置	青少年課	—

図書館名	内容
江東	こども室にて季節感やテーマを設けた展示を定期的に行い、本への興味と読書の習慣づくりを働きかけます。
深川	深川北子ども家庭支援センターと連携し、出張子育てひろばにあわせ、読み聞かせボランティアによるおはなし会を行います。
深川	各図書館の職員が高校生におすすめする本をとりまとめ、リストを作成してホームページに掲載します。
深川	中学生向けのブックリストを作成し、区立中学校の全生徒に配布します。
東陽	季節や時事に合わせた児童特集展示・YA 特集展示を、毎月テーマを変えて実施します。
東陽	近隣の幼稚園や保育園の図書館訪問を受け入れ、本と触れ合う機会を広げます。
豊洲	YA 展示のブックリストを配布し、中高生の利用促進を図ります。
東雲	児童、YA の各コーナーで、季節感やテーマを設けた展示を定期的に行い、本への興味と読書の習慣づくりを働きかけます。

図書館名	内容
東雲	近隣にある保育園や小学校から図書館訪問を受け入れ、本と触れ合う機会を広げます。
東雲	図書館職員がおすすめする YA 向けのブックリスト冊子を作成・配布し、現場の視点から読書の魅力を発信します。
古石場	近隣小中学校や幼稚園・保育園のおすすめ本 POP を展示します、それに伴い資料の充実を図ります。
城東	幼児・小学生向け図書館広報誌「らびとだより」と、中高生向け図書館広報誌「らびと通信」を発行し、図書館利用の促進を図ります。
城東	児童・生徒が興味・関心を持てるように、児童向け展示を毎月、YA 向けの展示を隔月行います。また、展示資料のブックリストを配布します。
城東	児童館や総合区民センターと連携し、子ども向け講座やおはなし会などのイベントを実施します。
亀戸	『子育て』『読み聞かせ』等に役立つ保護者に向けた紹介小冊子『かめっこつうしん』と中高生向け小冊子『かめい堂』を配布します。また、施設と連携して出張おはなし会や出張展示、団体貸出等のサービスを提供します。
砂町	幼児・小学生向けブックリスト（すなぼん）や YA 向けブックリスト（YA すなぼん）の定期的な発行、毎月テーマを変えた展示コーナーの充実等により、本に触れる機会を増やして読書への関心を高めます。
砂町	YA 向けブックリスト（YA すなぼん）の作成・配布に加えて、YA コーナーの展示工夫や資料の充実を図ります。
東大島	月 1 回のおすすめ本の展示を実施します。またその中からさらに選りすぐった図書を X にて紹介し、図書館外でもおすすめ図書を気軽に見られる環境づくりを行います。
こどもプラザ	おはなし会を図書館、工作会を子ども家庭支援センターが分担し、共同で「おはなし工作会」を定期的に開催します。
こどもプラザ	こどもの読書週間、読書週間に小中学生を対象に「おすすめ本」を募集して展示するなど、児童参加型の展示を積極的に実施します。
こどもプラザ	乳幼児、小学校低学年（2 階）、小学校中高学年、中高年生（3 階）の世代別に月例のテーマ展示、時季に合った時事展示やこども参加型展示など多様な展示を実施し、こどもたちが本と出会う機会を演出します。新聞、雑誌を閲覧可能な 1 階読書サロンにて区政情報を含め、一般向け特集展示を月例で実施し、幅広いジャンルの貸出を行います。
こどもプラザ	こどもの読書週間（4/23～5/12）、読書週間（10/27～11/9）に図書館員のおすすめ本を展示し、こどもたちが新たな本と出会う機会を作ります。

図書館名	内容
こどもプラザ	こどもの読書週間にこどもたちに自分の好きな本の名前を書いてもらう「本の木を育てよう」を実施します。
こどもプラザ	ビブリオバトルを定期的で開催し、読書への関心を育み、本によるコミュニケーションを推進します。
こどもプラザ	本と利用者をつなぎ、こども読書活動につなげる「本の福袋」「お楽しみ袋」等の企画を年齢層別に実施します。
こどもプラザ	乳幼児保護者向けの図書館だより「ぷ」、小学生向け「プ」、中高生 Y A 世代向け「コプラ!」、妊娠期の親とご家族向けに「ぷれママ」（「ぷれぱぱ」）を発行し、それぞれの年齢に即したおすすめ本等、こまやかな情報発信を行います。
こどもプラザ	絵本・児童文学作家のイベントの実施に加え、定期的に絵本原画展を開催し、原画ならではの絵本の魅力をこどもたちに伝えます。
こどもプラザ	こどもプラザを訪れるこどもたちに向けた「読書の楽しみを伝える絵本作家・児童文学作家からのメッセージ」をパネルにして年間展示します（毎年新年開館日に刷新）。
有明こども	有明こども家庭支援センターと連携し、こどもと保護者が本に親しむことができる事業を実施します。
有明こども	YA おすすめ本コーナーを設置し中高生の図書館資料の活用を促します。

施策4：保護者のための子育て応援

育児に関する情報提供や、ブックリストの配布、絵本の選び方・読み聞かせのコツなどを学ぶ機会を通じて、家庭内での読書環境づくりを支援します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱1-5:小中学生への取組	図書館	—
第三次	乳幼児	No3：保護者向け読み聞かせ会の実施	図書館	—
第三次	乳幼児	No7：子育て応援メールの発信	こども家庭支援課	図書館
第三次	乳幼児	No12：保護者と絵本の触れ合いの場の確保	指導室（幼稚園）	—
第三次	小中学生	No14：親子読書の実施	指導室（学校）	—

図書館名	内容
江東	季節に応じた赤ちゃんとその保護者向けの映画会やおはなし会を開催します。
深川	赤ちゃんや小さな子の、家庭で本とふれあう時間が増えるよう、保護者向けの読み聞かせ講座を実施します。
深川	赤ちゃんや小さな子が家庭で本とふれあう時間が増えるよう、また、読みかかせのやり方を学ぶ機会として保護者向けの読み聞かせ講座を実施します。
東陽	子育てに役立つパスファインダーの作成・配布を行います。
東陽	おはなし会で使用した本のブックリストを作成・配布します
豊洲	おはなしのへやキッズを開放し、読み聞かせや手遊びなど親子でゆっくりと楽しめる場所を提供します。
東雲	子育て世代の利用の多い図書館として、子育て支援コーナーを常設し、子育て支援につながる資料や情報誌を積極的に収集し、展示や配布を行います。
東雲	親子で楽しめるイベント、大人を対象とした読み聞かせ講座など、年齢などの対象別にイベントを開催し、図書と結びつく機会を作ります。
東雲	年二回発行の広報誌「しのび」を配布し、子育てに役立つ情報や資料も紹介していきます。
古石場	読み聞かせのコツやおすすめ本などを紹介するリーフレットを作成し配布します。あわせておすすめ本の展示を行います。
城東	児童コーナーで育児に関する一般資料などの展示を行い、子育て世代の支援を行います。また乳幼児向け資料の展示も合わせて行い、家庭内での読書環境づくりを支援します。

図書館名	内容
城東	週 1 回のおはなし会、月 1 回の赤ちゃんおはなし会を実施していきます。また、季節のおはなし会や多言語おはなし会を開催し、楽しく絵本に触れる機会を作ります。
亀戸	『子育て』『読み聞かせ』等に役立つ保護者へ向けた紹介小冊子『かめっこつうしん』を配布します。
東大島	児童室に設置した「保護者向け子育て本コーナー」では、展示や新刊図書の受け入れなど配架図書の鮮度維持を図ります。
東大島	イベント開催時には、おすすめ図書の展示とブックリスト配布を同時に実施します。また、館内の展示においてもおすすめ図書のブックリストとセットにして運用します。
東大島	新規に行う「はじめてのおはなし会」では、絵本の選び方や読み聞かせのコツなど保護者向けの資料を配布し、保護者の図書館活用や学びの機会につながるよう努めます。
こどもプラザ	乳幼児保護者向けの図書館だより「ぶ」、小学生向け「プ」の毎月の発行の他、妊娠期の親とご家族向けに「ぶれまま」「ぶれぱぱ」を発行し、子育ての不安や悩みの解消支援、関連本紹介、子育て支援コーナーの利用促進に努めます。
こどもプラザ	子ども家庭支援センターと連携して、乳幼児のこどもを持つ保護者への支援として、「ママ読書タイム」を実施します。
こどもプラザ	乳幼児のこどもを持つ保護者の子育て支援として「絵本でブックトーク」を定期的を開催します。
有明こども	乳幼児を育てる保護者向けに「子育て支援コーナー」を設置し保護者に寄り添った読書支援を行います。
有明こども	保護者向けイベントを実施し、子育てに関する基礎的な知識から日常の悩みに寄り添う実践的な内容まで、幅広い情報提供を行います。

方向性 2

好奇心を育む読書活動の充実

学校との連携や学年に応じた本の紹介、また図書館見学などの活動を通じて、読書を通じた探究心や社会的な学びを促進します。図書館が学びの場として機能することで、子どもたちの知的好奇心を育てます。

施策 5：読書習慣の形成

蔵書の充実やイベントの展開などで、こどもの読書意欲と学びの姿勢を育て、本に親しむ習慣と図書館利用の継続を促します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
第三次	乳幼児	No5:図書館所蔵資料の充実（絵本）	図書館	—
第三次	小中学生	No10:読書時間の設定	指導室（学校）	—
第三次	小中学生	No11:読書週間・月間の設定	指導室（学校）	—
第三次	小中学生	No16:読書感想文コンクールの実施	指導室（学校）	—
第三次	小中学生	No17:読書目標・読書記録の設定	指導室（学校）	—

図書館名	内容
江東	児童・生徒が自分に合った本に出会えるよう、多言語やアクセシビリティにも配慮した蔵書数や蔵書構成、内容の充実を図ります。
東陽	Challenge Wednesday サポートの一環として、毎週水曜日に「おすすめ本ポスト」を設置し、自分のおすすめ本の紹介や同世代がおすすめする本を知る機会を作ります。
東陽	「読書感想文講座」や「新聞の読み方」など、読書を通して感性を育てるイベントを開催します。
豊洲	来館による図書館見学プログラム作成のほか、来館ができない団体向けに、自主制作の図書館 PR 動画を貸出します。
東雲	小学生を対象に調べ学習応援教室を実施し、Challenge Wednesday の取り組みにつなげます。

図書館名	内容
東雲	乳幼児・小学生、YA 世代など対象別に、読書週間に合わせたイベントを展開します。
古石場	学校説明会や図書館見学などを通じ、子どもの読書習慣作りや本との関わりを支援します。
城東	絵本から児童書まで蔵書を幅広く収集し、合わせて季節の展示などを行うことで児童の学ぶ姿勢に応えます。
亀戸	子ども達へ本に親しむ習慣作りを訴求するプログラムを実施します。
砂町	近隣学校との連携を強化し、小中学生を対象にした POP 等の作品展示や YA コーナーの展示充実、ビブリオバトルの開催等により図書館に足を運ぶきっかけづくりを実施します。
砂町	児童向け蔵書を充実させるとともに、児童の来館のきっかけづくりとして従来では体験できないイベントを企画・開催し、図書館への来館を促します。
東大島	小中学生に向けて、春と秋の読書週間に合わせて「調べる学習応援イベント」を実施します。
東大島	小学生に向けて、夏休み準備企画「読書感想文の書き方講座」を実施し、読書活動の推進を図ります。
こどもプラザ	乳幼児親子を対象に楽しい読書に誘う、絵本作家による読み聞かせやワークショップを開催します。
こどもプラザ	YA 層（中高生）の読書活動推進策として、「ライトノベル展」を開催します。
こどもプラザ	こどもの読書週間（4/23～5/12）に親しみやすく読書習慣に誘う「読書手帳（出版社許諾のキャラクターを使用）」を配布します。
こどもプラザ	こどもの読書週間（4/23～5/12）および読書週間（10/27～11/9）に「図書館員のおすすめ本」を展示・貸出します。
こどもプラザ	夏休みに「読書感想文書き方講座」を開催します。
こどもプラザ	絵本作家・児童文学作家のワークショップ・講演会開催時に、作家の著作を展示・貸出します。
こどもプラザ	開催する講座・講演会で関連図書の展示・貸出を行い、読書活動への誘導に努めます。
こどもプラザ	読書活動推進を目的に YA 層（中高生）向けの作家講演会や講座、朗読会などを開催し、関連図書の展示・貸出を実施します。
こどもプラザ	対象年齢や年代に合わせた幅の広いジャンルの資料を収集し、事業にも絡めて、充実を図ります。
有明こども	読書通帳を発行し、読んだ本の記録や達成状況を可視化することで、継続的な読書習慣を促します。

施策 6 : 授業等の読書活動支援

学校との連携で図書館と学校図書館を読書と学びの場として定着させるほか、団体貸出、調べ学習セット拡充、電子書籍の活用を積極的に進めます。

また、学校、学校司書と図書館で積極的に意見交換を実施し、連携して学校図書館における課題解決に取り組みます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	乳幼児	No4:図書館資料団体貸出の利用促進	図書館	障害者施策課、こども家庭支援課、保育課、指導室（幼稚園）
第三次	乳幼児	No22:意見交換会の実施	指導室(幼稚園)、図書館	
第三次	小中学生	No1:図書館資料団体貸出の利用促進	図書館	障害者施策課、青少年課、指導室（学校）、地域教育課
第三次	小中学生	No3:学校図書館の授業活用	指導室(学校)	学務課
第三次	小中学生	No15:学校図書館の利用案内	学務課、指導室（学校）	
第三次	小中学生	No18.小学生向け図書館ガイド（事業概要）の作成	図書館	指導室（学校）
第三次	小中学生	No29:学校訪問の実施	図書館	指導室（学校）
第三次	小中学生	No32:学校図書委員会と図書館の交流	指導室(学校)、図書館	
第三次	小中学生	No33:学校図書館と図書館の連携	指導室(学校)、図書館	
第三次	小中学生	No37:意見交換会の実施	指導室(学校)、図書館	学務課
第三次	高校生等	No1:図書館資料団体貸出の利用促進	図書館	障害者施策課、青少年課
第三次	高校生等	No18:学校図書委員会と図書館の交流	図書館	

図書館名	内容
江東	近隣の小学校・中学校・高校を訪問し、学校との情報交換を通して連携を深めるとともに、学校等への出張おはなし会や図書館見学の受入を実施します。
深川	園児が興味や関心を持つ本を園向けに団体貸出を行います。
深川	小学生が興味や関心をもつ本を選び、セットにして学校向けに団体貸出を行います。
深川	団体貸出セットの調べ学習セットの見直しや充実を行います。
深川	児童、生徒が興味や関心をもつ本を選び、セットにして特別支援学校等へ団体貸出を行います。
東陽	きッズクラブや担当小中学校に対して、団体貸出の案内を行い利用促進に取り組みます。
東陽	百科事典講座や調べる学習講座等の出張授業を担当小中学校へ案内し実施します。
東陽	近隣学校を訪問し、図書館サービスの案内や意見交換を行い、連携して課題解決に取り組みます。
東陽	オンライン会議サービスを利用した調べる学習授業を行い、図書館から距離の離れた小学校へも支援を行えるよう学校と協議します。
東雲	近隣の学校や施設へ団体貸出についてご案内し、図書館資料を活用していただく機会を提供します。
東雲	近隣の小学校を対象に学校訪問し、図書担当教諭や学校司書と連携して課題解決に取り組みます。
古石場	近隣学校と意見交換し資料の充実を図ります。
古石場	学校に出向き電子図書館説明会を行います。
城東	近隣の小学校・中学校・高校を訪問し、図書館における学校支援を紹介するほか、積極的な意見交換を行い、教職員と連携して課題解決に取り組みます。
城東	団体貸出を通して、学校やきッズクラブへの読書支援を行い、本に親しむ習慣と図書館利用の継続を促すほか、学習単元に関連する資料の選書を行い、学習支援を促進します。
城東	近隣小学校へ児童向けの学校訪問を行い、生徒への図書館利用を促すほか、電子図書館の紹介を行うことで電子書籍利用も促します。
亀戸	学校との連携を通して学校の課題を共有し解決に努め、授業等の読書活動を支援します。
砂町	近隣幼稚園・保育園や小学校への団体貸出の頻度を上げることにより、図書館を身近に感じてもらい、図書への興味を深めて読書習慣の醸成を図ります。
東大島	幼稚園・保育園・児童館に向けた出張展示（団体貸出）などの実施に向け、対象先の情報収集や関係構築等を行っていきます。

図書館名	内容
東大島	学校司書連携の施策として、学校司書の相談先となれるよう情報提供等を行い、日頃からの関係性の構築を図ります（担当校 3 校）。
東大島	学校との連携として、図書館探検の際に館内利用説明の実施を行い、学校訪問でも小学生児童の気軽な図書館利活用の啓蒙を図ります。
こどもプラザ	地域の小学校を対象に情報交換、連携強化のための定期的な学校訪問を行います。
こどもプラザ	小学生の図書館見学を受入れ、図書館と施設の利用促進に結びつけます。
こどもプラザ	中学生の職場体験を受入れ、生徒が作成した推薦図書 P O P を展示し、図書館と施設の認知と利用促進に結びつけます。
こどもプラザ	近隣小学校のきっずクラブ学童を対象として、図書館事業へ課外授業としての参加を提案します。
こどもプラザ	子ども家庭支援センターと共同で「こどもプラザ実行委員会」を定期的で開催して、小学生などこどもの利用者意見を収集し、施設運営の参考にします。
こどもプラザ	近隣小学校と連携を図り、学校のカリキュラムに応じた行事計画や、図書展示、団体貸出を行います。

施策7：図書館とつながる社会的な学び

小学生の図書館訪問や中高生の職場体験・ボランティア活動などを通じて、公共性を学ぶ場として位置づけます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	乳幼児	NO13:図書館訪問の受け入れ	図書館	障害者施策課 保育課、指導室 (幼稚園)
第三次	小中学生	No30:図書館見学の受け入れ	図書館	指導室(学校)
第三次	小中学生	No31:職場体験の実施	指導室(学校)	図書館
第三次	高校生等	No:職場体験・インターンシップの受け入れ	図書館	—

図書館名	内容
江東	幼稚園・保育園向けに「図書館招待おはなし会」、小学校向けには「出張おはなし会」「としょかんたんけん」「ブックトーク」を実施します。 中学生向けでは「職場体験」の受け入れ、高校生向けにインターンなどの受け入れを実施します。
深川	小学生の図書館見学や、中高生の職場体験・インターンシップなどを積極的に受け入れます。
東陽	近隣学校の図書館見学を積極的に受け入れ、図書館への関心を高めます。
東陽	近隣中学校や高校からの職場体験やインターンシップを積極的に受け入れ、図書館への関心を高めると共に、公共性を学ぶ場を提供します。
東陽	支援学級やブリッジスクールについて、生徒の特性に合わせた時間や内容での職場体験の受け入れを行います。
東陽	中高生の図書館ボランティアの募集を検討します。
豊洲	特別支援学校の児童・生徒を図書館へ招待し、図書館見学、おはなし会を行います。また、特別支援学級の職場体験を積極的に受け入れます。
東雲	小学生が図書館業務を体験する司書体験、図書館見学を実施し、図書館をより身近に感じ、自主的に読書活動に取り組む姿勢を育みます。
東雲	近隣中学校や高校からの職場体験を積極的に受け入れ、図書館への理解と興味を深めるとともに、将来の職業選択の機会を提供します。

図書館名	内容
古石場	図書館見学・職場体験・インターンシップに加え町たんけんなどを受け入れ、公共性を学ぶ機会を提供します。
古石場	近隣の特別支援学級の児童を図書館体験会に招待し図書館利用の支援・促進を図ります。
城東	近隣の幼稚園や保育園の図書館訪問を受け入れて連携を深めることで、図書館利用の促進を目指します。
城東	近隣の小学校における図書館たんけんを受け入れ、図書館への理解や興味を深めることを行います。
城東	近隣の中学生・高校生の職場体験・インターンシップを受け入れ、図書館への理解や興味を深めるとともに、公共性を学ぶ機会を作ります。
亀戸	さまざまな図書館業務を通じて業務を学べる職場体験や図書館見学、ボランティアの受入を実施します。
砂町	近隣小学校からの図書館見学の受け入れ、中学生の職場体験受入れを通じて社会との接点づくりや社会性の育成を図ります。
東大島	小学校の連携企画として図書館訪問「図書館探検」の受入に取り組みます。
東大島	幼稚園・保育園向けに「招待おはなし会」、小学校向けには「出張おはなし会」「としょかんたんけん」「ブックトーク」「図書館員体験」を実施します。 中学生向けでは「職場体験」の受入れ、高校生向けにインターンなどの受け入れを実施します。
こどもプラザ	幼稚園・保育園児の「としょかんたんけん」を受入れ、読み聞かせも行い、絵本の楽しさを伝えます。
こどもプラザ	小学生の図書館見学を受入れ、図書館・施設利用を促進します。
こどもプラザ	中学生の職場体験を受入れ、図書館・施設利用を促進します。
こどもプラザ	夏休みにキッズハローワークを2日間実施し、こどもたちのしごと・職業に関する好奇心・関心を育み、しごと関連の本の展示・貸出を行います。
こどもプラザ	子ども家庭支援センターとの共同事業である「こどもプラザまつり」への小中高生募集や、地域の清掃活動への小学生募集など、ボランティア体験の協力を通して、こどもたちが社会性・公共性を学ぶ機会を提供します。
こどもプラザ	区内の特別支援学校、特別支援教室などの児童・生徒の図書館見学会や招待おはなし会等を実施します。
有明こども	図書館訪問、職場体験、夏休みボランティアなどを受け入れます。

方向性3

中高生の利用促進

学習や趣味・関心に応じた資料の充実を図り、中高生が図書館を自分の興味や学びに応じて活用することができ、図書館活動への参加や企画への関与を通じて、自分の居場所としての図書館を実感できる環境を整え利用促進につなげます。

施策8：中高生向け資料の拡充・活用

年齢に応じて学習支援や進路に関する情報、趣味や社会課題に関する読み物などを充実します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	小中学生	No2:学校図書館の資料充実	学務課	—
第三次	小中学生	No6:図書館所蔵資料の充実（児童書・YA）	図書館	—
第三次	高校生等	No4:図書館所蔵資料の充実（YA）	図書館	—

図書館名	内容
江東	ゝなるには BOOKS、などの進路や受験等に役立つ資料を積極的に収集し、YA コーナーにて展示します。
深川	中高生が興味や関心をもつ本を充実させ、YA コーナーに展示します。
東陽	YA 向けの学習支援や進学、就職に役立つ資料を収集し充実させます。
東雲	中高生を対象とした YA コーナーを常設し、YA 世代向けの資料の充実を図ります。
古石場	図書館利用のきっかけとなるよう中高生のおすすめ本は積極的に収集し資料を充実させます。
城東	中高生のニーズにあった資料を収集する他、中高生向け図書館広報誌「らびと通信」を発行し、図書館利用の促進を図ります。
亀戸	それぞれの段階に応じた学習・進路・スキルの取得などの読み物を充実します。
東大島	YA 向け図書や ゝなるには BOOKS、職業、職種についての資料を積極的に選書します。

図書館名	内容
こどもプラザ	Y A 文学・ライトノベルの話題作、推薦図書など、中高生の興味を惹く図書を収集・展示して、読書活動推進につなげます。
こどもプラザ	Y A 層（中高生）向けの図書館だより「コプラ！」を隔月で発行し、新刊、おすすめの本を紹介します。
こどもプラザ	Y A 層（中高生）の読書活動推進策として「ライトノベル展」を開催し、作家のおすすめ本を含む関連図書の展示・貸出を実施します。

施策9：主体的な関わりの促進

POP の作成やおすすめ本の展示、ビブリオバトルやイベント運営への参加、学校図書委員会と図書館の交流などを通じて、図書館をより身近に感じ、自己表現できる場として、主体的な関りを促進します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	小中学生	No12:図書委員による読み聞かせ	指導室(学校)	—
第三次	小中学生	No13:「図書だより」の作成	学務課、指導室(学校)	—
第三次	小中学生	No22:同年代によるおすすめ本の紹介	指導室(学校)、図書館	—
第三次	高校生等	No10:同年代によるおすすめ本の紹介	図書館	—
第三次	高校生等	No16:図書館ボランティアの育成	図書館	—
第三次	高校生等	No17:読み聞かせ体験の実施	図書館	—

図書館名	内容
江東	職場体験やボランティア、インターンシップ体験を実施した際に、参加者に POP を作成してもらい、YA コーナーに展示します。
東陽	近隣の幼稚園・保育園・小学校・中学校と連携し、読書週間におすすめ本の POP を募集し、図書館内に展示します。
東陽	職場体験の際に、おすすめ本の POP 作成を行ってもらい、資料と一緒に館内に展示します。
豊洲	中高生にサポーターとして参加してもらいながら、児童向けプログラミング講座を開催します。
東雲	職場体験に参加した生徒が作成したおすすめ本の POP を資料とともに展示し、図書館とつながる機会を提供します。
東雲	近隣の幼稚園・保育園・中学校と連携して読書週間におすすめ本の POP を募集し、図書館内に展示します。
東雲	YA 世代の図書館利用促進イベントとして、ものづくりワークショップを実施します。
古石場	インターンシップの高校生主体となるイベントを開催します。
城東	近隣中学校、高校の学校図書委員会と連携し、学校図書館における図書館作成ブックリストの配布を行うなど、連携強化を深めていきます。
城東	近隣の小学校、中学校、高校と連携し、読書週間におすすめ本の POP を募集し、図書館内に展示します。

図書館名	内容
城東	近隣の高校と連携し、学校図書委員会との相互協力、図書館事業・イベント運営への参加を通して、主体的な関りを促進します。
亀戸	生徒おすすめ展示や POP 展示等、自己表現できる場を設置し提供します。
砂町	近隣中学校との連携を強化し、POP 等の作品展示に加えてビブリオバトルの開催等により読書への関心を高める取組みを実施します。また、近隣中学の文化発表会にも積極的に参加し、交流を図ります。
東大島	近隣の小学校、中学校、高校と連携し、読書週間におすすめ本の POP を募集し、図書館内に展示します。
東大島	「LIKE FEELS LIKE（好きが好きを呼ぶ）コーナーを常設し継続します。職場体験時に「おすすめ図書」POP の作成体験を実施し、同学年へのおすすめ図書紹介の場を創出します。
東大島	中高生向けにイベント運営のボランティア活動募集を実施します。
東大島	インターンのカリキュラムに読み聞かせ体験を取り入れます。
こどもプラザ	近隣中学校との連携を深め、中学生作成の推薦図書 POP 展示や、おすすめ本の展示を職場体験受け入れ時に実施します。
こどもプラザ	読書週間に近隣中学校におすすめ本を書いてもらい館内に展示します。
こどもプラザ	近隣の中学校・高校と連携し「みんなの写真展」への協力や、音楽室など施設の利用促進、行事参加に向けた部活動への PR を強化します。
こどもプラザ	こども読書活動推進とともに、本によるコミュニケーション力の育成につながるビブリオバトルを定期的で開催し、更なる定着化を図ります。
有明こども	中高生と連携したボランティア活動を推進し、社会との関わりを深める機会を創出します。

方向性 4

児童サービス対応力の向上

図書館が子どもにとって安心して過ごせる場所であり、学びや成長を支える場となるために、研修や実践等を通じて職員の対応力を高めることで、子どもとの信頼関係を築き、図書館との継続的な関わりを促進することを目指します。

施策 10：研修や実践を通じた対応力の習得

図書館職員や教員の実践的な研修・勉強会（読み聞かせ、イベント運営等）や、読み聞かせボランティアの育成を行いながら、子どもに寄り添う読書環境の整備を推進します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-3:人材育成の推進	図書館	—
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	乳幼児	No21:読み聞かせボランティアの養成	図書館	—
第三次	乳幼児	No23:研究会の実施	指導室(幼稚園)	—
第三次	乳幼児	No24:図書館主催講習会への参加受け入れ	図書館	保育課、指導室(幼稚園)
第三次	乳幼児	No25:研修への参加	図書館	—
第三次	小中学生	No27:教員向け校内研修の実施	指導室(学校)	—
第三次	小中学生	No36:読み聞かせボランティアの養成	図書館	—
第三次	小中学生	No38:研究会の実施	指導室(学校)	—
第三次	小中学生	No39:研修への参加	図書館	—
第三次	高校生等	No21:研修への参加	図書館	—

図書館名	内容
江東	国や東京都が開催している図書館職員向けの研修へ必ず参加します。また、児童から受けたレファレンスや読書相談を全職員で共有し、回答や対応について学び合う環境を作ります。
深川	読み聞かせボランティアの養成講習会やレベルアップ講習会、勉強会を行います。

図書館名	内容
東陽	マニュアルに基づいた業務チェックリストを作成し、各スタッフの業務理解度を把握することで個別のフォローや業務の習熟度を深めていきます。
東陽	児童サービスやおはなし会、ブックトーク等の研修を行い、児童担当のスキル向上を目指します。
豊洲	豊洲子ども家庭支援センター等の協力を得て、安全安心に乳幼児を接遇できる職員を育成します。
東雲	マニュアルに基づいた各業務マニュアルを作成し、各スタッフの業務理解度を把握することで、個別のフォローや業務の習熟度を深めていきます。
東雲	Challenge Wednesday の取り組みより、児童から受けたレファレンスを全職員で共有し、回答や対応について学び合う環境を作ります。
古石場	職員の児童サービスのスキルアップを目指し研修を行います。
城東	児童サービス研修を実施し、おはなし会や学校訪問、調べる学習など児童サービスの質を向上させ、子どもに寄り添う読書環境の整備を推進します。
亀戸	研修を通して、こどもの接し方やこどもの安全等を学び、対応力を高め安心して利用できる空間作りに努めます。
砂町	社内研修に加え、区内図書館の児童担当者間での情報共有や読み聞かせボランティア向けレベルアップ講習会への参加等により、サービス対応力を強化します。
東大島	読み聞かせボランティア講習会やレベルアップ講習会の運営参加の機会を利用して、スタッフの研修、および実践の場としても活用します。
東大島	児童担当は資料管理からイベント運営までの一連の業務を担当することで、実践力の向上に努めます。
東大島	マニュアルに基づいた業務チェックリストを作成し、各スタッフの業務理解度を把握することで個別のフォローや業務の習熟度を深めていきます。
こどもプラザ	専門的な児童文学連続講座を受講し、幼年童話の成り立ちや変遷、特徴や魅力などを学び、幼い子どもにとって文学とは何かを考え、講座を通して、こどもたちと絵本の先にある読書の世界へ入っていくには何が必要なのかを学びます。
こどもプラザ	専門的な読み聞かせ講座を受講し、こどもに語ることを基本に据え、どのようなお話を選んだらよいか、どのように語ったらよいか、語り手としての心構えなどを学び、こども向けの施設として、読み聞かせに関わる知識、実技向上を目指します。
こどもプラザ	図書館員の率先したビブリオバトルへの参加や、キッズコーチ検定、アニメーション講座の受講などを通して、児童サービスへの対応力を育成強化します。
こどもプラザ	社内 e-ラーニングの図書館研修科目を適時受講し、図書館運営に実務的に役立つ外部のフォーラムや展示会などに積極的に参加します。
有明こども	児童向けレファレンス研修など利用者のニーズに沿った研修を行います。

施策の体系

1.こども

2.多様性・包摂・共生

3.学び・探求・安心の場

4.地域・歴史・文化・郷土

5.図書館 DX

基本目標 2

すべての人に開かれた読書環境と図書館サービスの充実

方向性 1

多様化する利用者支援

図書館利用者は、年齢・文化的背景・言語・価値観などが多様化しており、こうした変化に対応するため、誰もが安心して利用できる環境づくりと、個々のニーズに寄り添ったサービスを提供します。

施策 11：多様化するニーズに応えるイベントの充実

年齢・関心など利用者の属性に応じた多彩な展示やイベントを展開し、多様化するニーズに応じていきます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-7:高齢者サービスの充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 1-10:多文化サービスの充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 2-17:多様な学習機会と本を通じた交流の形成	図書館	—

図書館名	内容
江東	一般・高齢者向け映画会を年に 2 回実施します。電話・窓口・LoGo フォーム等の申込方法を上映作品の年齢層に合わせて実施します。
江東	健常者とともに聴覚障害者の方も楽しめるバリアフリー字幕付き上映会を実施します。
江東	マルチメディアデジの利用促進のため、館内での案内ポスターの掲示や、上映会を行い、活字資料の利用が困難な方への支援を行います。
深川	朗読や素話など、大人が楽しめるおはなし会を開催します。
東陽	多様なニーズに応えるため、毎日 1 冊おすすめの本を展示する「毎日展示」を実施します。
東陽	社会状況や季節、世間の関心が高いと思われる内容の特集展示を、隔月でテーマを変更して実施します。
東陽	SDGs への関心を高めることを目的とし、エコバックにも使える「本の福袋」を東陽・城東・東大島・東雲図書館 4 館合同で開催します。
豊洲	子育て世代及び高齢者に向けた展示を特設コーナーで展開し、多様なニーズに向けた資料を提供します。

図書館名	内容
東雲	SDGs への関心を高めることを目的とし、エコバッグにも使える「本の福袋」を東陽・城東・東大島・東雲図書館 4 館合同で同時開催します。
東雲	映画会やワークショップなど全世代が一緒に楽しめるイベントを実施します。
東雲	一般・児童それぞれのメイン展示のほか、子育て支援、マルチメディアデイズ、障害者サービス、時事関連等の各種特集展示を実施し、様々な角度から本と利用者を結ぶ場を提供します。
古石場	英語に楽しく親んでもらえるようにえいごおはなし会を実施します。
城東	区関連施設と連携したアルツハイマー月間等の特別展示を実施するなど、高齢者に向けた取り組みを行います。
城東	近隣に外国人在住者が多いことから「ボードゲームを介した多文化交流イベント」など多文化共生に関わるイベントを図書館独自で実施するほか、区内関連機関と連携し多文化交流や多文化共生に関するイベント・展示を積極的に展開することで、地域の特色について知ってもらう機会をつくれます。
城東	SDGs への関心を高めることを目的としてエコバッグにも使える「本の福袋」を東陽・城東・東大島・東雲図書館 4 館合同で同時開催します。
亀戸	利用者のニーズに沿った展示・イベントを計画し、実施します。
亀戸	聞こえる人も聞こえない人も楽しめる『手話でおはなし会』を実施します。
砂町	高齢者向けイベント（終活・健康講座等）世代間交流イベント（映画会等）など、多様なニーズに応えるイベントを企画・実施します。
東大島	展示ではヤング、ミドル、高齢者および自館が推奨する健康に関する資料に関し、年齢別やニーズに沿った展示を月 1 回ペースで更新します。
東大島	高齢者向けにはフレイル予防の「社会参加」の一環として、図書館にくるきっかけづくりを目的に、俳句、健康、趣味、学びをテーマに年に複数回連続で行うイベントを実施します。 働き盛りのミドル、ヤング向けには、「自分メンテナンス」や「大人の学び教室」を通じて、新しい体験をするきっかけを提供するイベントを実施します。
東大島	SDGs への関心を高めることを目的とし、エコバッグにも使える「本の福袋」を東陽・城東・東大島・東雲図書館 4 館合同で開催します。
こどもプラザ	隣接する特別養護老人ホームとも連携を図り、地域の高齢者、特別養護老人ホーム入居者・利用者に向けた健康に関する講座や、「孫におすすめの読み聞かせ絵本」の資料配布、落語会などを実施します。
こどもプラザ	隣接する特別養護老人ホームへの出張おはなし会を隔月で実施します。

図書館名	内容
こどもプラザ	隣接する施設間の相互連携として「特別養護老人ホーム入居者による出張おはなし会」を図書館で定期的を実施し、高齢者の意欲増進・生きがいつくり、多世代交流に努めます。
こどもプラザ	9月の世界アルツハイマー月間に、「認知症サポーター養成講座（地域住民向け/江東区民限定）」を開催します。
こどもプラザ	相続や老後のトラブル、不安解消のための弁護士による講座を開催します。
こどもプラザ	近隣のこども食堂へ出張して読み聞かせイベントの実施、団体貸出資料を利用したこども食堂での「ミニ図書館」など、読書支援に向けた連携事業を開催します。
こどもプラザ	こどもと本を結びつける様々な展示や年代別の事業の開催、児童館機能も有するこども向け複合施設の特徴を活かし、様々な事業を子ども家庭支援センターと共同で開催します。また、特別養護老人ホームが隣接する特徴を活かし、地域に根差した多世代間交流イベントを企画・展開します。
こどもプラザ	新たな試みとして、初めての孫を授かったおじいちゃん・おばあちゃん向けの図書館だより「ぷれじじ・ぷればば」を発行し、参考図書や読み聞かせに役立つ絵本を紹介します。
こどもプラザ	旧児童会館の体育館機能を継承した各種スポーツ系イベントの定期的な開催に加え、江東区バスケットボール連盟と連携して、プロ選手を講師に迎える「3×3バスケットボール・クリニック」実施の他、新たなイベントの企画などを子ども家庭支援センターと共同で実施します。
こどもプラザ	障害者も健常者も一緒に楽しめる「バリアフリー映画会」を開催します。
有明こども	小学校の学習単位に関連した展示を含む、子どもの年齢や関心に応じた展示を行い、幅広い利用者のニーズに応えます。

施策 12 : 多文化・多様性に関する情報提供

多言語資料・イベントの充実、外国人住民向けの情報提供、また LGBT 等の展示などを通して地域社会の相互理解と共生を促進します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-10:多文化サービスの充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 2-17:多様な学習機会と本を通じた交流の形成	図書館	—

図書館名	内容
江東	多言語でのおはなし会を年に 2 回実施します。また、多言語資料等の展示も合わせて実施します。
深川	英語でのおはなし会を行います。
東陽	英語やフランス語など様々な言語による「多言語おはなし会」を開催し、グローバルな感性を養う機会を作ると共に、日本語を母国語としない利用者も楽しめる機会を提供します。
東陽	一般書・児童書共に洋書の充実と、多言語ガイドブックの情報更新を積極的に行います。
東陽	点字講座等、障害理解に繋がるイベントを実施します。
豊洲	英語多読を奨励するための乳幼児向けワークショップを定例開催します。
豊洲	人気のある多言語の学習講座に連携した多言語資料を積極的に収集します。
東雲	英語、フランス語などの外国語を用いたおはなし会を実施します。
東雲	LGBT に関連した資料の展示を行います。
東雲	一般書・絵本などの児童書の洋書を充実させ、利用促進を図ります。
古石場	児童・一般共多言語資料の充実を図ります。
城東	多文化共生コーナーを常設し、多文化共生に関する資料を収集・展示するほか、日本文化・日本文学などに関する洋書や日本語学習を支援する資料を積極的に収集し、多文化理解を促進します。
亀戸	日本語を母国語としない人でも楽しめる『英語でおはなし会』を実施します。
砂町	多文化サービスとして、英語の絵本コーナーの充実や英語でのおはなし会を実施します。
東大島	英語、韓国語、中国語を中心とした蔵書の充実、および多言語のガイドブックの充実、Y A 向けの英語図書や絵本など外国語図書の充実を図ります。

図書館名	内容
東大島	展示ではやさしい日本語で書かれた本の特集や、L G B T 理解促進を深めるための展示を実施します。また、江東区内関連施設からの連携展示の依頼は積極的に受け入れ、幅広い情報提供に努めていきます。
こどもプラザ	英語、中国語等の外国語絵本、児童文学の収集を図り、館内に外国の方に分かりやすいピクトグラムを設置します。
こどもプラザ	外国語と日本語のバイリンガルおはなし会を通して、多文化学習の機会づくりを実践します。
こどもプラザ	障害者、外国人、L G B T など社会的な共生をテーマとした資料の収集、展示を実施し、こどもたちの理解の深化を図ります。
こどもプラザ	国際協力団体から講師をお招きし、「自分たちでできる国際協力」や「世界と日本のつながり」などに関する講座を通し、こどもたちが国際協力の課題や方向性などを一緒に考えていく機会としていきます。
有明こども	英語おはなし会を実施し、多文化に触れる機会を作ります。

方向性 2

誰もが読書できる環境づくり（読書バリアフリー）

さまざまな理由で読書に困難を抱える人々に対して、すべての人が等しく読書の機会を享受でき、知識の獲得や自己の可能性を広げるための役割を果たしていきます。

施策 13 : アクセシブルな書籍の拡充

点字図書や音声資料、LL ブック（やさしい日本語の本）などを充実させることで、情報へのアクセスの格差をなくし、誰もが等しく知識に触れられるよう資料を充実させます。

また、来館困難者や視覚障害者等へのサービス拡充を図るとともに、アクセシブルな電子図書館サービスについても拡充していきます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-7:高齢者サービスの充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 1-9:障害者サービスの充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 2-11:資料の充実	図書館	—

図書館名	内容
江東	音声読み上げや文字拡大等の機能があるアクセシブルな電子書籍を充実させます。
江東	大活字本の充実を図り、展示等を通して利用を促進します。
江東	共同書庫・閉架書庫を活用し、江東区立図書館として 1 冊は残すべき図書および雑誌のバックナンバーの保存・提供を行います。
江東	活字資料の利用が困難な方への支援のために、録音図書の製作を行います。
深川	LLブック、点字付き図書、大活字本などのアクセシブルな資料を幅広く積極的に収集します。
東陽	大活字本や朗読 CD をまとめたコーナーを設置し、高齢になっても読書を楽しむ機会を提供します。
東陽	マルチメディアデジターの体験コーナーを常設し、読書困難者の支援を行います。
東陽	点字資料の蔵書数を増やし充実させます。
豊洲	デジタルツールの使い方や趣味につながる資料、大活字本など、高齢者に向けた資料収集を強化します。
東雲	LL ブック、布絵本や点字絵本、大活字本や朗読 CD、点字資料の常設展示を行い、収集にも力を入れていきます。

図書館名	内容
古石場	りんごの棚を周知し、資料の充実を図ります。
古石場	大人向けかみしばいの周知や大活字本を充実させます。
城東	情報へのアクセス格差をなくすべく、大活字資料、LL ブック、点字図書の受入れをすすめ、蔵書の充実を図ります。
城東	点字資料を収集するなど、視覚障害者等の読書環境の整備を進めます。
亀戸	『りんごの棚』を設置し、バリアフリー図書を活用。情報への多様なアクセス方法を紹介し支援します。
亀戸	資料利用の多様化・促進として大活字本や朗読 CD、多言語に触れるきっかけになる多言語資料を多く取り入れ、充実を図ります。
砂町	館内貸出用車椅子の常設に加え、来館困難者や視覚障害者等、利用者に応じたきめ細やかなサービス（宅配や訪問サービス等）を実施します。
東大島	高齢者向けには大活字図書の蔵書の充実を引き続き図っていきます。
東大島	子ども向けにはりんごの本棚に「さわる」「点字」「LLブック」等の蔵書の充実を行い、だれでも触れられるような環境づくりに引き続き取り組んでいきます。
東大島	子ども向けの点字図書は、ブックフェアや書店見計らいなどを通じて積極的に受入れ、蔵書充実を図ります。
こどもプラザ	障害者週間（12月3日～9日）などに障害者へのこどもたちの理解を深めるための資料展示や「手話付きおはなし会」「介助犬講座」などを実施します。
こどもプラザ	アクセシブルなこども電子図書館の更なる普及に向けたPR事業として「電子図書館はじめてタイム」を実施します。
有明こども	障害者サービスの案内や関連資料を展示した「りんごの棚」を設置します。

施策 14 : 情報支援の強化

利用案内の工夫ややさしい日本語での情報提供、宅配サービス、録音図書・点字図書・マルチメディアデージーの周知といった情報支援の充実を図ります。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-7:特別な支援を必要とする児童・生徒への取組	図書館	—
経営方針	全体	柱 1-9:障害者サービスの充実	図書館	—
第三次	乳幼児	No9:点字図書の製作・貸出	図書館	—
第三次	乳幼児	No27:宅配サービスの実施	図書館	—
第三次	乳幼児	No10:録音図書 (DAISY) 製作・貸出	図書館	—
第三次	小中学生	No8:点字図書の製作・貸出	図書館	—
第三次	小中学生	No9:録音図書 (DAISY) 製作・貸出	図書館	—
第三次	小中学生	No41:宅配サービスの実施	図書館	—
第三次	高校生等	No6:点字図書の製作・貸出	図書館	—
第三次	高校生等	No7:録音図書 (DAISY) 製作・貸出	図書館	—
第三次	高校生等	No23:宅配サービスの実施	図書館	—

図書館名	内容
江東	障害に関する情報共有の普及・啓発のため、区政応援スペースに展示コーナーを設置し、年に1回障害者サービス資料の展示を行います。
江東	活字資料の利用や図書館への来館が困難な方にむけて、個別の状況に合わせて、対面朗読や録音図書・点字図書の貸出、本の宅配サービスを実施します。
江東	障害者サービスに関する音訳版利用案内を製作します。
深川	団体貸出の特別支援学級向けの本についてその内容を見直し、セットを充実させます。
東陽	既存の宅配サービスや対面朗読サービス、デージー資料の貸出などを行います。
東陽	「やさしい図書館利用案内」やコミュニケーションボードを活用し、障害の有無にかかわらず利用しやすい支援を行います。
東雲	マルチメディアデージーの体験コーナーを常設し、読書を困難とする方の利用を促進します。
東雲	障害者サービス展示にて、情報提供の支援を行います。
東雲	図書館への来館が困難な方へ、宅配サービスで本の貸出を行います。
東雲	ポップやパネル等を掲示し、特集展示の意図や内容を分かりやすく案内・解説します。
古石場	りんごの棚や朗読 CD などの充実を図ります。

図書館名	内容
古石場	手話講座などを開催し、読書バリアフリーの理解を促します。
城東	宅配や訪問による貸出など、来館が困難な方からのご相談に応じ、よりきめ細かなサービスを行います。
城東	マルチメディアデージーについて案内掲示と体験コーナーを常設し、障害がある全ての利用者へ向けた周知と支援をします。
城東	車椅子の方や障害がある児童に配慮した場所へポスター掲示及びパンフレットを配置し、情報支援の充実を図ります。
城東	障害をお持ちの方からの相談に応じ、郵送による DAISY・視聴覚資料の貸出および対面朗読についてご案内し、きめ細かいサービスを実施します。
城東	来館困難な方からのご相談に応じ、宅配による貸出をご案内し、宅配サービスを実施します。
亀戸	支援が必要な子どもたちが自分で図書館資料を探せるよう、イラストを活用するなどした棚表記の工夫・維持をします。
亀戸	学校と連携して、支援を有する子ども・生徒に合わせたプログラムを実施。個々の特性を共有し学びを支援します。
砂町	宅配・訪問サービスに加えて、対面朗読室の利用、必要に応じたお声がけによる情報支援を実施します。
東大島	障害者向けには対面朗読、および宅配サービスを継続して提供します。また、点字やマルチメディアデージー、音訳図書の窓口業務と P R 活動も実施していきます。
東大島	障害者サービス P R を音声付き動画にしてサイネージで訴求します。
東大島	学習支援施設の情報やサポートセンターの案内など、江東区内の支援施設・団体に関するパンフレットをりんごの本棚のそばで展開するなど、情報を必要としている保護者へのスムーズな情報提供環境を行います。
こどもプラザ	館内にわかりやすいピクトグラムを設置します。
こどもプラザ	「やさしい利用案内」としてリーディングトラックや筆談用具、コミュニケーションボード等を配備します。
こどもプラザ	来館が困難な利用者に宅配サービスを実施し、その推進や周知を図ります。
こどもプラザ	特別な支援が必要な子どもに配慮すべく、館内のサイン見直しやイベント参加時の対応方法などを整えます。
有明こども	情報アクセシビリティ支援ツールを整備するとともに、わかりやすい館内サインの掲示ややさしい日本語による情報提供を行い、支援を必要とする児童・生徒が図書館機能を十分に利用できる環境を整えます。

施策 15 : 読書支援における関係機関との連携

区関連部署や点字図書館と連携して録音図書や点字資料の周知を検討するほか、障害者施設や高齢者施設と連携して出張読書サービスや読み聞かせを実施するなど、各機関が持つネットワークを活かし、利用者一人ひとりの状況に応じた支援を行います。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-7:特別な支援を必要とする児童・生徒への取組	図書館	—
経営方針	全体	柱 1-8:高齢者サービスの充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 1-9:障害者サービスの充実	図書館	—

図書館名	内容
江東	障害に関する情報共有の普及・啓発のため、区政応援スペースに展示コーナーを設置します。
江東	区関連部署や点字図書館と連携し、障害者サービスの音声版利用案内を配架します。
江東	障害者サービス利用案内を区内施設に配架します。
深川	読み聞かせボランティアを大塚ろう学校城東分教室へ派遣し、読み聞かせを実施します。
東陽	近隣高齢者施設での出張おはなし会やブックフェアの実施を検討します。
東陽	学校図書館と連携し、ディスレクシア等読書困難児童への読書補助器具の貸出やマルチメディアデジターの利用に繋げて支援していく。
豊洲	高齢者施設や福祉施設等と連携し、読み聞かせを実施します。
東雲	高齢者施設、障害者施設との連携を計画し、ニーズに合わせたサービスの充実を図ります。
古石場	近隣の高齢者施設と連携しアルツハイマー月間展示を行います。
城東	特別支援学校からの依頼に応じた団体貸出、生徒の職場体験を実施します。また特別支援学校の図書館訪問、図書館を校外学習の目的地として受け入れるなど、幅広い支援活動を行います。
東大島	特別な支援を必要とする児童、生徒への取組として、出張おはなし会の提案を関連施設に向け案内します。
こどもプラザ	隣接する特別養護老人ホームへの出張おはなし会を隔月で実施します。
こどもプラザ	隣接する施設間の相互連携として「特別養護老人ホーム入居者によるおはなし会」を図書館で定期的を実施し、高齢者の意欲増進・生きがいづくりや、多世代交流の実現に努めます。

図書館名	内容
こどもプラザ	区内の就労継続支援施設と連携した自主生産品の常設販売を継続し、その活動をこどもたち・利用者に知っていただくとともに、こどもの本スポンサーとしてこどもの読書活動推進へのご参画を呼び掛けてまいります。
こどもプラザ	日本点字図書館に勤務する絵本作家を招聘して、手話や点字についてのこどもたちの理解を深める手話付きおはなし会、ワークショップを開催します。

施策 16 : 音訳者・点訳者の支援・養成

地域で活動する音訳者を育成し、音声資料の提供体制を整えることで、必要とする利用者へ録音資料や対面朗読のサービスを継続的に行います。また、地域で活動する点訳者を支援し、点訳を必要とする利用者へ点訳図書等の提供を継続的に行います。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 2-15:ボランティア活動の推進	図書館	—
第三次	乳幼児	No26:音訳ボランティアの養成	図書館	—
第三次	小中学生	No40:音訳ボランティアの養成	図書館	—
第三次	高校生等	No22:音訳ボランティアの養成	図書館	—

図書館名	内容
江東	新規音訳者育成のため、音訳者養成講座（初級）を開催します。また、既存の音訳者のスキルアップのために、上級講座を開催します。
江東	録音・点訳図書の作成について、継続的な活動機会を確保します。
東雲	対面朗読室の利用促進のため、サインージなどで情報を発信していきます。
城東	対面朗読を希望される方へボランティアの手配及び対面朗読室の貸出を行います。
東大島	江東区主催の養成講座募集に合わせて館内展示と関連した P R 活動を実施します。

方向性 3

基礎理解と接遇スキルの習得

さまざまな特性を持つ利用者が来館する中で、読書バリアフリーを中心とした基礎的な知識を身につけるとともに、誰に対しても丁寧で思いやりのある接遇を実施します。

施策 17 : 利用者対応力の向上

研修の受講やマニュアル整備等により、障害のある方、高齢者、外国籍の方など、多様な背景を持つ利用者への配慮を理解し、安心して図書館を利用できるようになることで、来館者数や満足度の向上につなげます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-3:人材育成の推進	図書館	—

図書館名	内容
東陽	全てのスタッフが認知症サポーター養成講座を受講し、配慮の必要な利用者に対するサポートが行える体制を整えます。
東陽	接遇研修や利用者対応グループワークを実施し、定期的に自分たちの接遇を見直しスキル向上を図ります。
東雲	新人スタッフをはじめ全スタッフで定期的に接遇研修を受講し、均一した接遇とホスピタリティを提供していきます。
東雲	マニュアルを活用した危機管理研修を実施し、意識向上に努めます。
東雲	全てのスタッフが認知症サポーター養成講座を受講し、配慮の必要な利用者に対するサポートが行える体制を整えます。
古石場	職員のスキルアップを目指し接遇やレファレンス研修を行うと共に救命講習などを受講し危機管理意識を高めます。
城東	新人スタッフに対する接遇研修を行い、接遇の質の均一化・館の特色に合った接遇力の向上に努めます。また窓口業務など基礎的業務に関する「業務理解度テスト」を実施し、業務の習熟度を深めていきます。
城東	マニュアルに基づいた業務チェックリストを作成し、各スタッフの業務理解度を把握することで個別のフォローや業務の習熟度を深めていきます。

図書館名	内容
城東	全てのスタッフが認知症サポーター養成講座を受講し、配慮の必要な利用者に対するサポートが行える体制を整えます。
城東	利用者対応事例やレファレンス対応事例の共有やグループワークを実施し、定期的に自分たちの接遇を見直し、スキル向上を図ります。
亀戸	適宜、研修を行ない利用者が安心して図書館を利用できるように努めます。
砂町	マニュアルの整備や職員に対する定期的な接遇研修を実施し、利用者サービスの質向上と満足度向上を図ります。
東大島	江東区主催のユニバーサルデザイン研修や外部の障害者サービス研修を積極的に受講し、スキルアップを図ります。
東大島	全てのスタッフが認知症サポーター養成講座を受講し、配慮の必要な利用者に対するサポートが行える体制を整えます。
こどもプラザ	接遇・マナー研修を定期的に行い、利用者満足度向上につなげます。
こどもプラザ	利用者への対応力向上と安全安心確保のため、手話講習や認知症サポーター養成講座、普通救命講習、防犯用に役立つ、さすまた研修などを従業員が受講します。
こどもプラザ	人権研修を適時受講し、図書館運営における人権についての理解を深め、公平公正なサービスの確立を目指します。
こどもプラザ	子ども家庭支援センターの虐待防止研修、ヤングケアラー研修に参加し、理解を深めます。

施策の体系

1.こども

2.多様性・包摂・共生

3.学び・探求・安心の場

4.地域・歴史・文化・郷土

5.図書館 DX

基本目標 3

一人ひとりの学びと安心を支える

方向性 1

学びの機会の提供

こどもから高齢者まで、世代や本人の環境によって多様な学びのニーズが存在しており、利用者が自ら課題を見つけ、考え、表現する力を育み、それに応える場として支援していきます。

施策 18 : 図書館施設の整備

施設整備・改修については、江東区長期計画に基づき着実に進め、利用者ニーズを踏まえた設備の検討やユニバーサルデザインの実現に取り組みます。加えて亀戸の一部地域など図書館の空白地域の対応等について、検討します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-1:図書館環境の整備	図書館	—

図書館名	内容
江東	利用者の利便性の向上のため、予約ロッカーや返却 BOX の拡充など、新たなサービスの展開の検討を行います。
東陽	定期的な見出しやサインの見直しを行い利用しやすい図書館環境づくりを行います。
東雲	見出し板の刷新・増設し、見やすく、資料を探しやすい書架に整備します。
古石場	掲示板やサインージュを利用し案内やイベント情報などをわかりやすく発信します。また室温に配慮し安全で衛生的な環境整備を行います。
城東	書架構成やサイン、掲示物など表示方法の見直しを行い、より利用者が使いやすい環境を整えます。
城東	館内表示にピクトグラムを用いるなど、年齢や国籍に囚われず、全ての人にとってわかりやすい表示を行います。
亀戸	色づかいやレイアウト等に配慮した誰もが見やすく分かりやすい館内表示を作成維持します。
東大島	書架構成やサインの見直しを行い、より利用者が使いやすい環境を整えます。
こどもプラザ	快適な読書環境の整備により、こども読書活動推進に努めるとともに、毎月手作りの装飾で乳幼児と保護者に親しみやすい子育て支援の環境を提供します。

図書館名	内容
こどもプラザ	子ども家庭支援センターとの複合施設であり、児童館としての役割も有する施設の図書館として、こどもたちの安全安心を確保することは最重要課題です。こどもたちの第三の居場所として、こどもプラザ施設全体で利用状況の点検・見守りなど、適時安心して利用できる環境を整えます。
こどもプラザ	OPAC や予約案内機にはわかりやすい使い方の説明を付け、デジタルサイネージではスタッフの実演による説明、館内にピクトグラム表示を設置して、誰もが利用しやすい図書館環境を整備します。

施策 19 : ライフステージに応じた学びの支援

年齢や生活環境の変化に応じて、学びの内容や方法、必要とする支援が大きく変化するなかで、年齢や関心に応じた多様なプログラムを展開していきます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 2-17:多様な学習機会と本を通じた交流の形成	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-22:特色ある図書館サービスの展開	図書館	—

図書館名	内容
江東	夏季休暇の課題である新書の展示を YA コーナーにて実施します。分かりやすいよう請求記号順に並べ、手に取りやすい展示にします。
東陽	ビジネス街に位置する特色を生かし、働く世代や人生の次のプランを考える世代に向けた「ビジネス支援講座」を実施します。
東陽	スキルの向上や生活の向上につながる生涯学習講座を実施します。
豊洲	豊洲文化センターなどで開催される生涯学習事業に関連した展示やイベント等を行います。
東雲	子育て支援につながる資料を積極的に収集し、親子で参加できる多彩なイベントを開催します。
古石場	様々な世代に向けた本の福袋を実施します。普段館内で手に取ることができない資料を他館から取り寄せテーマごとに提供します。
古石場	東京保健医療専門職大学と連携し健康に関する講座を開催します。
城東	児童・生徒向けに調べ学習や将来の仕事に役立つイベントなどを実施し、児童・生徒の好奇心を引き出し、更なる学習へ繋がる支援を行います。
城東	一般向けに芸術や歴史、文化など様々な分野に関するイベントを行い、利用者の関心を掘り起こし、生涯学習を支援します。
砂町	幼児・児童から高齢者まで幅広いレンジを対象に、各世代が興味や関心を持つテーマをピックアップして様々なイベントを開催します。
東大島	シニア向けには年間を通じて、社会参加のきっかけを促す目的でイベントを毎月継続実施します。(健康、お金と法律、脳トレ、スマホでの図書館利用、俳句など)
東大島	働く世代、ミドル、ヤング層にむけては「今取り入れたい、新しいこと」をキーワードに年間を通じたイベント開催を行います。(自分メンテナンス・お金の教室〈ミドル向け・ヤング向け〉・塗り絵・朗読など)

図書館名	内容
東大島	「健康」をテーマにがんや薬、病気に関する資料を別置き、健康が気になったら気軽に資料を手にとれるよう「健康コーナー」を見直し、充実させます。
こどもプラザ	乳幼児、小学校低学年（2階）、小学校中高学年、中高校生（3階）の世代別に月例のテーマ展示、時季に合った時事展示やこども参加型展示など多様な展示を実施し、こどもたちが本と出会う機会を演出します。新聞、雑誌を閲覧可能な1階読書サロンにて区政情報を含め、一般向け特集展示を月例で実施し、幅広いジャンルの貸出を行います。
こどもプラザ	こどもやY A世代向け事業の積極的な開催に加えて、大人が楽しめる時代小説作家などの一般向け講演会や、講座・朗読会などを開催し、生涯学習支援の一翼を担います。

施策 20 : 探究的学習（調べ学習、STEAM 教育など）を支える取組

知識の習得だけでなく、自ら課題を見つけ、調べ、考え、表現する力を養うため、調べ学習や STEAM 教育などの探究的学習を支援することで、主体的な学びを促進し、思考力・創造力の育成に貢献します。

※STEAM 教育

科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、リベラルアーツ（Arts）、数学（Mathematics）の領域を軸とした教育のことです。

図書館名	内容
江東	夏休みの宿題応援企画としてこども室にて読書感想文、工作や料理の本をテーマにした展示を行い、HP・X で広報します。
東陽	調べる学習のテーマ設定やまとめ方を学ぶ「調べる学習達人イベント」を実施します。
豊洲	中高生にサポーターとして参加してもらいながら、児童向けプログラミング講座を開催します。
東雲	調べものをする際に役立つ、基本的な調べ方などを学ぶ調べ学習講座を実施します。
古石場	かがくえほんおはなし会では探求心を刺激するよう参加者自ら実験を行ってまいります。
城東	調べる学習や STEAM 教育などに関する講座を実施し、好奇心を持って自ら課題を見つけ、調べ、考え、創造・表現する力の育成を支援します。
亀戸	調べ学習をサポートするワークシートやパスファインダーを作成します。また、STEAM に関連する資料の紹介展示を展開し『STEAM』に興味をもってもらい、探求的学習を支援します。
東大島	小学生の夏休みの宿題応援企画として、「科学のチカラ」講座を実施します。
こどもプラザ	学校の一人一台端末を活用した児童向け事業（「Chromebook を使って図書館を知ろう」「Chromebook を使ってScratch でゲームを作ろう」等）を開催します。
こどもプラザ	「図書館を使った調べる学習コンクール」への応募支援（組織応募）を行い、自主的・主体的な調べ学習を支援します。
こどもプラザ	利用しやすい図書館実現の一助として、OPAC や予約案内機に使い方の説明を付けるとともに、全世代を対象に OPAC ・タッチパネル講習会や OPAC を使った「判じ絵クイズ」等を開催し、より一層の普及に努めます。

図書館名	内容
こどもプラザ	夏休み期間中「夏休みしゅくだいおたすけ隊」を実施し、宿題や課題を自主的に解決へ導くための参考資料を提示・貸出します。
有明こども	学研ニューワイドを活用し、調べ学習等を支援します。
有明こども	一人一台端末を利用したプログラミング講座を開催します。

施策 21 : 学べる環境整備

安心して学びに集中できる空間を整え、利用者の主体的な学びを支える役割を果たすため、グループ学習・Challenge Wednesday の支援、時間帯に応じたゾーニング等を検討します。

また、児童・生徒にとって利用しやすい学校図書館になるよう、学校司書が資料の分類や配架、学習単元に沿った本のテーマ展示を実施します。

※Challenge Wednesday (チャレンジウェンズデー)

「児童・生徒の確かな学びの推進」などを目的とした江東区独自の取り組みです。原則として水曜日は学校から宿題を出さない日とし、自分の学習状況や個性に合わせて、主体的・計画的に課題に取り組むことができるようにしています。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	小中学生	No21:グループ学習室の実施	図書館	—
第三次	小中学生	No28:学校図書館の環境整備	学務課	—
第三次	高校生等	No9:グループ学習室の実施	図書館	—

図書館名	内容
江東	Challenge Wednesday 支援として、毎週水曜日にこども室にてチャレンジウェンズデーお助け隊を配置するとともに、鑑賞室をグループ学習室として解放します。
深川	Challenge Wednesday に合わせて毎週水曜日午後にグループ学習室を開設。
東陽	夏休みや Challenge Wednesday で行った調べる学習の成果を発表する「調べる学習発表会」を開催します。
東陽	Challenge Wednesday 支援として、調べる学習相談室 & カウンターを設置し調べる学習の相談を受け付けます。
東陽	図書館での Challenge Wednesday 支援への参加促進のため、企画に参加したらもらえるシールを集めるシールカードの配布を行います。
豊洲	毎週水曜日にチャレンジウェンズデー応援隊を配置するとともに、近隣小学校等の二階にあった対応を行います。
豊洲	おはなしのへやキッズを放課後に開放することなどにより、中高生が勉強等できる場所を提供します。
東雲	Challenge Wednesday への取り組みとして、水曜日は専用バッジを装着して気軽に声をかけやすい雰囲気演出します。

図書館名	内容
古石場	毎週水曜日 Challenge Wednesday 応援隊を配置しチャレンジの棚を設置します。
城東	調べ学習に役立つ資料や辞書など日々の学習に活用できる資料を収集し、Challenge Wednesday の支援となる取り組みを実施します。
亀戸	『Challenge Wednesday』取組として、おはなしのへやを学習室として開放。調べ学習シートを配布・資料設置等で主体的な読書活動・学習支援を行います。
砂町	Challenge Wednesday 対応として、水曜日の午後は職員が可能な範囲で児童コーナーにて待機して児童からの相談や質問に回答。これにより様々な課題について学べる環境を提供し、児童にとって話しかけやすい雰囲気づくりを醸成します。
東大島	小学生向けでは「Challenge Wednesday」応援イベントである「東大島図書館で水チャレ」と、夏休み宿題応援企画「読書感想文の書き方」・「科学のチカラ」を実施します。
東大島	中高生に向けては、学びの場の確保と図書館へ来るきっかけづくりとして定期的におはなし室を学習室として開放する活動を行います。
東大島	小学生向けには Challenge Wednesday の取り組み提案として、毎週水曜日に「水チャレ！」の実施を通じ、自ら「調べる体験」のきっかけづくりを行っていきます。
東大島	中高生向けに学習室開放を引き続き実施します。
東大島	小学生向けにも Challenge Wednesday にて簡単に調べ学習に取り組めるように作った「水チャレプログラム」を継続し、その会場としてグループ学習室開放（おはなし室利用）をトライアルとして行います。
東大島	小学生には Challenge Wednesday 取り組み用にグループ学習室開放トライアルを行います。
こどもプラザ	こども読書活動推進の一環として、Challenge Wednesday に「Challenge Wednesday おたすけ隊」を実施し、こどもたちの調べ学習・興味関心に基づく自主学習/読書を支援する体制を整え、調べ学習支援、レファレンス、読書案内により図書館利用促進に結びつけます。
こどもプラザ	こどもたちへの調べ学習支援・レファレンスの認知促進を図るポスター掲示や、図書館スタッフが「しらべます さがします」バッジを携帯して、「わからないことがあったら図書館へ」の意識醸成につなげます。
こどもプラザ	「図書館を使った調べる学習コンクール」への応募支援（組織応募）を行い、自主的・主体的な調べ学習を支援します。
有明こども	『Challenge Wednesday』の取組をサポートするため図書館の設備やサービスなどを周知し、学習しやすい環境を整備します。

方向性 2

居心地の良い環境づくり

自分の居場所として安心できる空間、適度なプライバシー、分かりやすい案内表示、そして利用者の目的に応じたゾーニングを整えることで、また来たいと思えるような環境を目指します。

施策 22：目的に応じた空間の見直し

集中できる学習スペース、協働学習の場など、スペースを目的別に見直すことで、利用者が安心して快適に過ごせる環境を提供し、図書館の学びと交流の機能をより効果的に発揮できるような環境を検討します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	乳幼児	柱 1-4:乳幼児への取組	図書館	—
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
第三次	乳幼児	No14:誰もが利用できる図書館環境の整備	図書館	障害者施策課
第三次	小中学生	No23:誰もが利用できる図書館環境の整備	図書館	障害者施策課
第三次	高校生等	No11:誰もが利用できる図書館環境の整備	図書館	障害者施策課

図書館名	内容
江東	区立中学校の試験時期(2,6,9,11月)に合わせてグループ学習室の開室日を試験1週間ほど前から臨時開室します。また、夏季休暇中にグループ学習室を一日開室し、児童・生徒が集中して学習できる環境を提供します。
東陽	パソコンを利用しながら資料閲覧が出来るビジネスルームを設定し、ルーム内にビジネスDVDや業界研究資料を配架します。
豊洲	開館前の番号札の配布や時間制閲覧席による利用管理など、混雑緩和に取り組みます。
東雲	一般エリアでは、集中して読書や学習に取り組める閲覧席のほか、可動式の机を増設します。展示、書棚のサインを、色・デザインを整えて効果的に表示します。
東雲	利用者層を意識し、木製の立て看板やイーゼル等を用いた、居心地のよい温かみのある雰囲気 연출します。
古石場	一般の閲覧席には間仕切りを設置し適度なプライバシーを保持します。
古石場	Chromebook専用席を設け学びのスペースを提供します。

図書館名	内容
城東	Challenge Wednesday や、夏休み期間中などに学習室を設定して、児童・生徒が集中して学習できる環境を提供します。
亀戸	館内に閲覧・学習コーナーを設置に加えて、おはなしのへやを学生に開放。グループ学習も可能な空間を提供します。
亀戸	ニーズを把握して目的に応じた空間を提供します。
砂町	用途に応じた各室の運用ルール化と運営管理、適切な室温管理、衛生面や安全面を考慮した館内レイアウト、掲示物や館内案内の見直し、書架や展示コーナーの整備等により居心地のよい環境を提供します。
東大島	中高生向けに学習室開放を実施します。
東大島	乳幼児には気軽におはなし会に参加できるように、児童室での幼児おはなし会をトライアルで実施します。
こどもプラザ	乳幼児、小学校低学年（2階）、小学校中高学年、中高校生（3階）の世代別に月例のテーマ展示、時季に合った時事展示やこども参加型展示など多様な展示を実施し、こどもたちが本と出会う機会を演出します。1階読書サロンにて区政情報を含め、一般向け展示を実施します。
こどもプラザ	閲覧（学習）室の「こども優先席」の掲示を強化し、特に土日祝日の満席時など利用状況を把握して、こどもたちが学習や読書に集中できる環境づくりに努めます。
こどもプラザ	地域交流スペースを活用した絵本原画展、みんなの写真展、その他展示の開催など、こどもの読書活動推進と学びに役立つ特集展示を実施します。
こどもプラザ	図書館スペースの壁面などを利用して、講演会やワークショップで登壇された絵本作家・児童文学（YA）作家のサイン色紙を展示し、図書館利用者へ講演会事業のPRと関連図書資料への関心を日常的に育みます。
有明こども	学習席の申込制による管理を行い、混雑緩和・安心安全な利用環境を提供します。

方向性 3

読書・地域資源を活かした地域課題・レファレンスへの対応

地域に根ざした情報拠点として、地域資源を活用した学びの支援を行います。また、レファレンスサービスや講座を通して具体的な課題に対する情報支援を行うことで、利用者が地域を深く理解し、課題解決につなげます。

施策 23：課題解決サービスの提供

所蔵資料やデータベースを活用し、区民や地域の課題解決に役立つ情報・探し求めている情報を提供します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	小中学生	柱 1-5:小中学生への取組	図書館	—
経営方針	高校生等	柱 1-6:高校生等への取組	図書館	—
経営方針	全体	柱 2-12:レファレンスサービスの充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-13:オンラインデータベースの利用促進	図書館	—
第三次	小中学生	No4:資料に関する相談対応	学務課、図書館	指導室(学校)
第三次	高校生等	No2:資料に関する相談対応	図書館	—

図書館名	内容
江東	オンラインデータベースの周知を館内掲示や図書館公式 X (旧 Twitter) 等にて実施します。
江東	レファレンスや読書相談について、館内での受付の他、インターネットによる受付を実施します。
江東	全館のレファレンスデータのうち、課題解決の参考になるものについて、ホームページで公開します。
深川	中高生の職場体験やインターンシップの受け入れ時にオンラインデータベースの操作方法などを案内し、今後の活用につなげます。
東陽	児童向けに、興味のあるテーマのパスファインダーを自分で作る「マイパスファインダー」の配布を行います。
東陽	レファレンスサービスの情報共有と利活用促進のため、専用のレファレンスファイルを作成しまとめます。

図書館名	内容
東陽	お問合せの多いテーマについて、関連資料や調べ方をまとめたパスファインダーを作成、定期的な更新を行い配布します。
東陽	商圈分析用・エリアマーケティングサービスとして、オンラインデータベース「MieNa」を導入しサービス提供します。
東陽	データベースの認知度向上と利用促進のため、データベースセミナーを開催します。
東陽	ビジネスに役立つ情報や疑問を解決するための資料を特集したビジネス展示を、隔月でテーマを更新し実施します。展示の内容に合わせたブックリストの配布も行います。
豊洲	レファレンス記録の入力を促進するよう職員への研修を実施します。
豊洲	オンラインデータベースの認知度向上のため、自主制作の活用ガイドを配布します。
東雲	テーマごとのパスファインダーの種類を増やして作成します。
東雲	オンラインデータベースの利用促進を図るため、分かりやすく、利用しやすい案内を掲示します。
東雲	レファレンスにて受けた情報を収集・活用し、サービスの充実につなげます。
古石場	レファレンス研修や事例の共有を行い、職員のスキルアップを図ります。
古石場	オンラインデータベースの利用促進を図るため、利用案内を掲示します。
城東	小学校の学習単元に合わせて関連資料の団体貸出を行い、児童の学習を支援します。
城東	レファレンス資料の充実を図るとともに、パスファインダーや展示やイベントに合わせたブックリストの配布を行います。
城東	オンラインデータベースの利用を促進するため、館内の案内をより目立つよう掲示します。
城東	中高生向けの読書案内、進路や将来の仕事を考えるのに役立つ資料の展示などを充実させ、YA世代の日常的な読書、課題解決を支援します。
亀戸	テーマに応じた関連資料をまとめたパスファインダーを作成し、配布します。
砂町	カウンター等でのお声掛けによるレファレンスへの誘導を実施するとともに、児童をターゲットにしたレファレンス会（相談会）を試行的に開催します。
東大島	レファレンスや問い合わせに対して的確な案内や照会ができるようにスタッフの理解を深めます。
東大島	お問い合わせの多いテーマについて、関連資料や調べ方をまとめたパスファインダーを作成し、配布します。

図書館名	内容
こどもプラザ	小学生向け、中高生向けパスファインダーを設置します。また、図書館の課題解決機能、レファレンスの認知促進を目的とした館内掲示（告知物、図書館員啓蒙バッジ着用）及びHP、SNS等によりPRを強化します。
こどもプラザ	オンラインデータベース利用促進に向けたわかりやすい利用案内の掲示、オンラインデータベースに親しみ、利用するきっかけを楽しく体験できる「クイズラリー」等のPR事業を実施します。
こどもプラザ	利用しやすい図書館実現の一助として、OPACや予約案内機に使い方の説明を付けるとともに、全世代を対象にOPAC・タッチパネル講習会やOPACを使った「判じ絵クイズ」等を開催し、より一層の普及に努めます。
こどもプラザ	ICTを活用するメディアリテラシー格差解消を課題に、デジタルデバイスの使い方講座などの事業を企画・実施します。
有明こども	学研ニューワイド用デモ機を設置しオンラインデータベースの利用促進を行います。

施策 24 : 区民、地縁団体との連携

地域特性によるニーズや課題を把握し、区民や地縁団体との連携を通じて、図書館が地域とともに課題を共有し、解決に向けた情報提供や学びの場を創出します。

また、大学との相互貸借等、大学連携事業の認知度を高め、利用を促進します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 2-16:大学連携の充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-22:特色ある図書館サービスの展開	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-23:区民や地域、区内公共施設等との連携強化	図書館	—

図書館名	内容
江東	区内大学図書館の利用について、令和8年6月までに館内掲示をして周知します。
江東	地域と連携した健康関連講座や認知症サポーター養成講座を開催し、多様化するニーズに応えていきます。
東陽	協定大学等と連携し、高度なレファレンスや学術調査等への協力を行います。
東陽	高齢者のデジタル格差解消のため、定期的なスマホ講座を開催します。
東陽	地域特性に関連する防災課題解決のための防災講座を開催し、区民が防災意識を持つきっかけ作りを行います。
豊洲	地域の課題や社会問題、図書館の取組について企画展示という形で来館者に発信します。
東雲	協定大学等と連携し、高度なレファレンスや学術調査等の協力を行います。
古石場	近隣の東京海洋大学と連携し相互利用促進のために独自に作成したポスターを掲示します。
古石場	高齢者に向けてタブレット講座を開催し、図書館ホームページや電子図書館の利用方法をレクチャーします。
古石場	古石場文化センター・児童館や東京保健医療専門職大学のイベントに参加し連携を深めると共に図書館利用の促進につなげます。
城東	区内の高校または大学と連携し、利用者の興味関心を喚起するイベントを実施します。
城東	総合区民センターや地域振興課、国際友好連絡会等と地域行事で連携し、地元情報を積極的に発信します。
城東	区内大学図書館との相互貸借、大学図書館との連携に関する掲示を実施し、区民へ幅広く情報提供を行います。
亀戸	地域施設と課題解決に向けた情報を共有し、連携を行いません。

図書館名	内容
こどもプラザ	東京海洋大学と連携を図り、同大教授を招いてこども向け講座を定期的を実施します。
こどもプラザ	地域のボランティア、民生委員、PTA、小中高生のボランティアなどの協力のもと、地域の風物詩となった「こどもプラザまつり」を子ども家庭支援センターと共同で秋季に開催します。こどもプラザまつりでは、区内児童館、K O T O街かどアーティスト（江東区文化センター）、江東区助産師会、区内就労継続支援施設他と連携してブースを展開します。
こどもプラザ	近隣消防署・警察や地元企業とも連携し、夏休みに職業体験ができる「キッズハローワーク」を子ども家庭支援センターと共同で実施します。職業関連の本の展示も行い、こどもたちのしごと・職業への興味を育みます。

施策 25 : 歴史・文化的な資料の収集・活用

地域の歴史・文化的な出来事や人物、伝統行事などに関する記録を積極的に収集・整備することで、図書館の情報支援機能の強化し、地域全体の知的基盤を支えます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 3-19:郷土資料の収集・活用の推進	図書館	—

図書館名	内容
江東	周辺自治体を中心とした住宅地図の収集や、区・地域の団体が発行した資料の収集を通じて、地域の歴史・文化を知ることのできる郷土資料コーナーの拡充に取り組みます。
深川	地域に関する資料を長く活用できるよう郷土資料室に保存、整備します。
東陽	江東区の郷土資料が掲載されている「朝日新聞東京川の手」記事を収集し、製本します。
豊洲	湾岸地域の歴史や文化に関する資料、地域企業の資料を積極的に収集し、豊洲地区ならではの郷土コーナーを作成します。
東雲	郷土資料コーナーで展示を展開するなど、地域を学び・知る機会を提供します。
古石場	地域資料を積極的に収集し、歴史講座などで展示し触れる機会を提供します。
古石場	小津安二郎紹介展示コーナーと連携し関連資料を収集・展示します。
城東	23 区の住宅地図収集、江東区に関連する資料や江東区に縁のある人物の作品を積極的に収集し、展示等を行います。
亀戸	地域ゆかりの歴史的人物、伝統等の展示を通じて、利用者へ地域の歴史・文化を発信します。
砂町	地域にゆかりのある作家、地域が舞台となっている資料、および地域の歴史に関する資料を収集・展示している「砂町コーナー」をさらに充実させ、地域の歴史や文化など、区民の地域に関する学びの場を提供します。
東大島	イベントを通じて地域の歴史資料や写真資料などを収集する取り組みを検討します。
こどもプラザ	青少年対策地区委員会などの地域団体の協力を得て地域の資料、古写真などを提供いただき、図書館で開催する事業に活用し、地域社会に情報の還元を図ります。

施策 26 : 地域資源の活用促進

地域資料を活用した展示や講座、地域団体との協働による生活に密着した情報発信などを、日常の課題解決や、自分の住む地域をより深く知り、関心を持つきっかけをつくります。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 2-18:展示の充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-22:特色ある図書館サービスの展開	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-23:区民や地域、区内公共施設等との連携強化	図書館	—

図書館名	内容
江東	区内ボランティア団体と連携した「朗読会」の実施など、地域のボランティア連携したイベントを実施します。
江東	疎開経験者へのインタビュー映像「戦争の語り部」を学童集団疎開資料室にて放映します。
深川	郷土をテーマとした講演会に合わせ、地域の歴史や文化を紹介する展示を行います。
東陽	地域のお祭りや歴史を知る事が出来る特集展示を行います。
豊洲	区報の発行に合わせてタイムリーな資料を展示することにより、地域への興味関心を喚起します。
豊洲	近隣病院医師が推薦する図書を診療科ごとに紹介する特設コーナーをさらに拡大し、充実に努めます。
東雲	東雲図書館周辺の魅力を紹介する「東雲おさんぽ Map」に合わせた常設展示を行います。
古石場	地域の歴史や神社仏閣など講演会を行います。
城東	地域にゆかりのある作品や作家の作品を、地域で活躍する団体による「大人の朗読会」などで紹介し、自分の住む地域をより深く知り、関心を持つきっかけをつくります。
城東	総合区民センターや地域振興課等と地域行事で連携し、地元情報を積極的に発信します。
亀戸	地域の情報を収集し、情報発信を行う掲示板等を設置し、維持します。
砂町	「江東区の逸品」や「江東区の伝統」などのイベントを通じて、江東区ならではの“ヒト・モノ・事業”に関するイベントや展示を企画・実施します。
東大島	江東区に関する情報提供を目的とした、地域資料や江東区が発行するパンフレット類を活用した展示を実施し、自分の住む地域への関心を高めるきっかけづくりを行います。

図書館名	内容
こどもプラザ	集団疎開・東京大空襲を経験された地域の先達に、風化させてはいけない地域の戦争の記憶をこどもたちへ語り継ぐ機会をつくる講座を開催します。
こどもプラザ	地域の産業・伝統工芸や江東ブランド企業による講座や体験型ワークショップを開催し、その歴史・文化に触れる機会を創出します。
こどもプラザ	地域の知財に着目し、江東区在住の絵本作家講演会・ワークショップ事業の開催により、こどもたちの地域理解を深めるとともに、郷土愛を醸成する一助とします。

方向性 4

専門性を活かした支援

情報収集・整理・提供に関するスキルや、利用者の課題に応じたサービス企画、地域資源を活かしたプログラムの立案など質の高いサービスを提供します。

施策 27：図書館職員の人材育成

継続的な研修や人材育成を通じて、情報処理スキルやレファレンス対応力、企画力の向上だけでなく、地域が抱える課題や利用者の需要に合わせた図書館サービスを提供できるよう人材育成を実施します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-3:人材育成の推進	図書館	—

図書館名	内容
江東	新任職員を対象に図書館基礎研修や窓口体験研修を実施します。
東陽	新人スタッフへは、窓口業務に関する「業務理解度テスト」を実施し、業務の習熟度を深めていきます。
東陽	責任者の指導マニュアルを作成し、統一した認識と指導が行えるような環境を整えます。
東陽	スタッフのスキル向上のため、図書館専門サービス、コミュニケーション、広報等のテーマ別研修を定期的実施します。
東陽	電子図書館の理解と利用促進させるため、スタッフ向けの電子図書館研修を実施します。
東陽	簡易救命救急講習や危機管理研修を全スタッフ受講します。
東雲	スタッフそれぞれの課題を補う選択研修や個人情報取扱に関する P マーク研修、消防庁主催の救命講習等に参加し、職員のスキルアップを目指します。
東雲	新人スタッフへは、窓口業務に関する「業務理解度テスト」を実施し、業務の習熟度を深めていきます。
東雲	責任者の指導マニュアルを作成し、統一した認識と指導が行えるような環境を整えます。

図書館名	内容
古石場	職員全員が受講する研修に加え、専門的な研修を担当者が受講しスキルアップを図ります。
城東	児童サービス・選書・レファレンスなどより専門性の高い研修のほか、コミュニケーション、広報などのテーマ別研修を受講し、利用者の需要に応えうる人材を育成します。
城東	責任者の指導マニュアルを作成し、統一した認識と指導が行えるよう環境を整えます。
城東	全てのスタッフが簡易救命救急講習や危機管理研修を受講します。
亀戸	利用者の需要に合わせた図書館サービスを提供できるよう研修を行ないます。
砂町	職員に対して適宜、レファレンス研修等を実施し、レファレンスサービスの質の向上を図ります。
東大島	情報処理能力（EXCEL.WORD）,レファレンス対応力（レファレンス研修）,企画力（チーム運用制度）,デジタル保存技術研修（準デジタルアーキビストなど）、接遇研修など継続的な研修を行っていきます。
東大島	新人スタッフへは、窓口業務に関する「業務理解度テスト」を実施し、業務の習熟度を深めていきます。
東大島	責任者の指導マニュアルを作成し、統一した認識と指導が行えるような環境を整えます。
東大島	簡易救命救急講習や危機管理研修を全スタッフ受講します。
こどもプラザ	スタッフのレファレンス対応力の向上・平準化を図る目的でレファレンス研修を定期的に実施し、知識と技術の向上により、利用者満足度向上につなげます。
こどもプラザ	社内 e -ラーニングの図書館研修科目を適時受講し、図書館運営に実務的に役立つ外部のフォーラムや展示会などに積極的に参加します。
有明こども	児童サービスのスキルアップを目指し研修を実施します、また利用者の安全を守るため近隣警察に依頼し防犯訓練などを受講します。

施策の体系

- 1.こども
- 2.多様性・包摂・共生
- 3.学び・探求・安心の場

4.地域・歴史・文化・郷土

- 5.図書館 DX

基本目標 4

**文化交流・歴史継承・郷土愛
を醸成する拠点として、地域を
つなぐ図書館**

方向性 1

文化的つながりの形成

文化や歴史について、世代や背景を超えた共有・継承・交流を促進し、お互いの価値観や経験を尊重し合いながら文化的ハブとなり、地域団体との連携を強化していきます。

施策 28：文化交流拠点としての機能拡充

芸術・歴史・伝統など多様な文化に触れる機会を提供することで、新たな価値観を生み出しながら、自己表現や他者理解を促進します。

図書館名	内容
江東	江東区の芸術・歴史・伝統に関する資料やパネル展示を行います。
深川	音楽などを取り入れたお話を開催します。
東陽	広く芸術に親しむ機会を提供するため、東陽・城東・東大島・東雲図書館 4 館合同で、人形劇の鑑賞会や解説付きの映画会を実施します。
豊洲	豊洲文化センターなどで開催される生涯学習事業に関連した展示やイベント等を行います。
東雲	文化、芸術、歴史など、テーマに基づいたミニ展示を定期的実施し、文化に触れるきっかけづくりに努めます。
東雲	広く芸術に親しむ機会を提供するため、東陽・城東・東大島・東雲図書館 4 館合同で、人形劇の鑑賞会や解説付きの映画会を実施します。
古石場	特色である映画関連の資料を充実させ、古石場文化センターの「江東シネマプラザ」に関連した資料を年間を通し月替わりで展示します。
城東	広く芸術に親しむ機会を提供するため、東陽・城東・東大島・東雲図書館 4 館合同で、人形劇の鑑賞会や解説付きの映画会を実施します。
城東	芸術や歴史、文化に関するイベントを実施し、様々な分野に関する関心を掘り起こし、生涯学習を支援します。
城東	近隣に外国人在住者が多いことから「多文化共生」をテーマにイベント・展示を積極的に展開します。
亀戸	文化に触れる機会を提供するイベントを行ない、多くの世代に歴史や伝統等に触れる場を提供します。

図書館名	内容
砂町	イベントの開催を通じて、伝統技術（刀剣研磨）や美術（花切子）等多様な文化に触れる機会を提供します。
東大島	中川船番所資料館から講師を招いて歴史的製本の手法「和綴じ本」製作体験のイベント開催を検討します。
東大島	広く芸術に親しむ機会を提供するため、東陽・城東・東大島・東雲図書館4館合同で、人形劇の鑑賞会や解説付きの映画会を実施します。
こどもプラザ	以前の児童会館まつりを継承し、秋季に子ども家庭支援センターとこどもプラザ図書館共同で「こどもプラザまつり」を開催し、地域の交流拠点としての役割を担います。

施策 29 : 地域活動団体との連携強化

商店街、学校、大学、書店、企業、福祉団体などと協力することで、図書館の中だけでは伝えきれない新たな魅力発信や読書活動、除籍資料の提供など、互いに支え合いながら取り組みを進めていきます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 3-23:区民や地域、区内公共施設等との連携強化	図書館	—
第三次	乳幼児	No18:リサイクルバザーの実施	養育支援課	—
第三次	乳幼児	No19:施設利用者から提供された絵本の再活用	こども家庭支援課 養育支援課	—
第三次	乳幼児	No20:図書館除籍資料の再活用	図書館	障害者施策課、こども家庭支援課、保育課、指導室(幼稚園)
第三次	小中学生	No34:図書館除籍資料の再活用	図書館	青少年課、障害者施策課、学務課、指導室(学校)、地域教育課
第三次	小中学生	No35:家庭で不要になった本の受け入れ・再活用	青少年課	—
第三次	高校生等	No19:図書館除籍資料の再活用	図書館	青少年課、障害者施策課
第三次	高校生等	No20:家庭で不要になった本の受け入れ・再活用	青少年課	—

図書館名	内容
江東	除籍となった資料を公共施設等へ提供し、地域全体の読書活動の推進に取り組みます。
江東	学校や大学・福祉団体へ、公共施設提供会等を通じ除籍資料の提供を行います。
深川	清澄庭園と連携し、入園の無料日に同園でおはなし会などのイベントを行います。
東陽	区内の就労継続支援施設の福祉生産品販売委託を実施し、施設の売り上げに貢献するほか、利用者に施設やその活動について広く知っていただく機会を提供します。
東陽	地域企業と連携したいイベントや展示を企画・実施します。

図書館名	内容
豊洲	地域大学と連携し、研究の取組みなど幅広い知識に触れる機会として展示やイベント等を実施します。
豊洲	豊洲文化センター主催の「豊洲フェスタ」に参加し、近隣地域の諸団体との交流を通じ、連携を強化します。
東雲	近隣大学と連携し、利用者の興味関心を喚起するイベントを実施します。
東雲	区内の就労継続支援施設の福祉生産品販売委託を実施し、施設の売り上げに貢献するほか、利用者に施設やその活動について広く知っていただく機会を提供します。
東雲	図書館除籍資料の再活用に取り組みます。
東雲	近隣の団体と連携した企画に参加し、地域の活性化に貢献します。
古石場	地元の魅力を発信するため近隣企業などと連携しイベントを開催します。
城東	総合区民センターや地域振興課、国際友好連絡会等と地域行事で連携し、地元情報を積極的に発信します。
城東	区内の高校または大学と連携し、利用者の興味関心を喚起するイベントを実施します。
城東	江東区の企業や事業者と連携した子ども向けイベントを実施し、小中学生の興味関心に応えます。
亀戸	近隣施設、区関連企業と協力し情報発信や資料の提供等を行ない、連携強化を図ります。
砂町	砂町商店街と連携した広報活動や砂町文化センター主催の夏冬年2回のフェスタ参加等により、利用者にとって魅力的な情報を発信します。
東大島	中川船番所資料館、東京城東病院、パラマウントベッド株式会社、行政書士会江東支部など、江東区で活動する企業団体と連携したイベントを実施していきます。
東大島	学校や幼稚園、保育園、児童館等へのリサイクル本提供を通じて図書館の地域連携を図ります。
東大島	区内の就労継続支援施設の福祉生産品販売委託を実施し、施設の売り上げに貢献するほか、利用者に施設やその活動について広く知っていただく機会を提供します。
こどもプラザ	区内公共施設や町内会等との連携を強化し、地域へのPR推進および連携イベント（近隣寺社等との謎解きウォークラリー、節分祭など）を開催します。
こどもプラザ	江東区ボランティア団体と連携して、隔月でおもちゃの修理会を開催し、多世代交流によるリサイクルの大切さをこどもたちに伝えていきます。新規来館者の創出にもつながってまいります。

図書館名	内容
こどもプラザ	9月の世界アルツハイマー月間に、隣接する特別養護老人ホーム内の長寿サポートセンターによる「認知症サポーター養成講座」を区民限定で実施します。
こどもプラザ	地域の企業や店舗との連携を推進して、事業の企画・実践に活かすとともに、地域と一体となってこども読書活動を推進する目的で「こどもの本スポンサー」へのご協力を提案します。
こどもプラザ	秋季開催のこどもプラザまつりでは、町会、PTA、民生委員、ボランティア等、地域の皆様による運営へのご協力、商店・企業にはビンゴ大会へ景品ご提供をいただくなど、地域連携による共創を実現します。
こどもプラザ	こどもたちのしごと・職業への興味を育む夏休みの「キッズハローワーク」では、近隣消防署・警察や地域の店舗、企業とも連携した職業体験を実施します。
こどもプラザ	開催事業の町会掲示板ポスター掲示など、町会との連携による情報発信強化を推進します。
こどもプラザ	除籍となったリサイクル資料を地域の保育園、小学校、特別養護老人ホームなどの施設への提供や、区民まつりで有効に活用します。
こどもプラザ	子ども家庭支援センターとの共同事業として、利用者・地域住民から不要となった衣料やおもちゃを提供いただき、リサイクル活用する「プラザ・バザー」を年1回開催します。
有明こども	有明スポーツセンター内団体との連携事業を実施します。同時に資料展示や広報活動を行います。
有明こども	東京都虹の下水道館（有明水再生センター）と連携したイベントを実施します。

施策 30 : 学童集団疎開や戦争に関わる資料の充実・活用

地域で起きた出来事や戦争の記憶を風化させず、平和の大切さを考えるきっかけを創出し、地域の人々が過去を共有し、歴史を学び、語り継ぐ場として、地域の記憶を守り続けます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 3-21:学童集団疎開資料の収集・企画の充実	図書館	—

図書館名	内容
江東	学童集団疎開や戦争関連資料の収集や展示を行い、終戦記念日や東京都平和の日に合わせて関連映画の上映会開催を行います。
深川	酸性紙でできた戦前資料の劣化を抑制し長期保存するため、脱酸性化処理を行います。
城東	戦争関連資料や平和学習について資料の継続的な収集と、展示を積極的に行います。
こどもプラザ	戦争の悲惨な記憶を風化させないため、8月と3月を中心に、平和関連資料の特集展示を実施し、江東区学童集団疎開パンフレット「疎開」、「希い」「夜間大空襲」を配布するとともに、近隣の小中高校への配布を強化します。
こどもプラザ	集団疎開・東京大空襲を経験された地域の先達に、風化させてはいけない戦争の記憶をこどもたちへ語り継ぐ機会をつくる講座を開催し、「疎開」「希い」「夜間大空襲」の江東区パンフレットを配布します。

方向性 2

郷土愛を育む活動の充実

地域の歴史・文化・人々の営みに触れる機会を提供することで、郷土への関心と誇りを育む環境づくりを推進していきます。

施策 31 : 地域に関わる講座の実施

地域の歴史、文化、産業、人物などに関する講座を通じて、自分の住む地域について深く知ることができ、地域への関心や誇りが高まり、郷土愛の醸成につながります。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 3-19:郷土資料の収集・活用の推進	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-22:特色ある図書館サービスの展開	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-23:区民や地域、区内公共施設等との連携強化	図書館	—

図書館名	内容
江東	戦災関連展示にあわせた上映会の実施など、地域の歴史を知ることのできる講座を検討・実施します。
深川	郷土（深川・江東区）をテーマにした講演会を開催します。
東陽	地域の歴史やお祭り等、郷土への関心や誇りを高める講座や展示を企画・実施します。
豊洲	豊洲市場や豊洲ぐるりパークなどと連携し、その特色を生かしたおはなし会やイベント等を実施します。
東雲	身近にある施設に行き、実際に見て体感する「社会科見学」を実施します。
古石場	地元の歴史講座を開催したり、富岡八幡宮の神職の方をお招きし講演会を行います。
城東	地域の企業・団体と連携し、幅広い分野において自分の住む地域について深く知ることができ、地域への関心へ繋がるイベント・展示を実施します。
亀戸	参加者の地域への関心が高まるようなイベントを企画し、実施します。
砂町	江東ブランド企業やこうとう街角アーティストをはじめ、江東区にゆかりのある人や企業を招いた講座開催により、地域への関心を高めます。

図書館名	内容
東大島	船番所資料館や深川江戸資料館、江東区の文化関連部署の協力を仰ぎ、実施に向けた検討を行います。
こどもプラザ	学びの地域資源である地場産業や地域の歴史を知る講座を開催し、こどもたちが地域を知る・地域の理解を深める活動の一翼を担います。
こどもプラザ	令和7年度から継続する、地下鉄8号線延線を期した「地下鉄運転シミュレーター」の設置期間に合わせ、地下鉄博物館・東京都交通局の協力のもと、「江東区の地下鉄の歴史をたどる」展示コーナーを展開し、こどもたちの郷土愛を育みます。

施策 32 : 地域資料の収集・活用

地域資料に触れることで、自分の住むまちの成り立ちや特色を知ることができ、地域に根ざした学び・発見を提供します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 2-18:資料の充実	図書館	—
経営方針	全体	柱 3-19:郷土資料の収集・活用の推進	図書館	—

図書館名	内容
江東	都内自治体・江東区に関連する住宅地図を積極的に収集し、「東京都公立図書館住宅地図総合目録」を参考に管理します。
深川	江戸・東京に関する資料を幅広く積極的に収集します。
東陽	地域資料や行政資料を積極的に収集し、新しく受け入れた資料をカウンター付近に一時配架することで多くの人の目に触れる機会を作ります。
豊洲	湾岸地域の歴史や文化に関する資料、地域企業の資料を積極的に収集し、豊洲地区ならではの郷土コーナーを作成します。
東雲	自館の収集分担である外国文学、外国語資料に加え、図書館の立地である臨海部・東京湾関連の資料を収集します。
東雲	江東区を深く知っていただくための郷土資料として、東雲図書館徒歩圏内の見どころを紹介する「東雲おさんぽ Map」を作成し配布します。館内閲覧資料としても提供します。
古石場	地域の文化・産業に関する資料を積極的に収集します。
城東	文芸、文化、地理、ガイドブックなど、分類問わず多角的な観点から見た江東区や大島地区に関する資料を積極的に収集するとともに、関連展示を行います。
亀戸	地域資料を収集活用し地域に根差したコーナーを展開・維持します。
砂町	「石田波郷コーナー」、「砂町コーナー」の展示を充実させ、地域のより詳しい情報に触れる機会を提供します。
東大島	船番所資料館や深川江戸資料館、江東区の文化関連部署の協力を仰ぎ、実施に向け検討します。
こどもプラザ	こどもたちに郷土愛が育まれるような地域に関わる講座の開催に加え、地域の催しの紹介や、近隣施設を案内する資料・パンフレット、地域資料を収集、提供します。

図書館名	内容
こどもプラザ	1階地域交流スペースの掲示板には地域の情報コーナーを設置し、地域情報を発信します。また、4階掲示板では各児童館のお知らせを掲示し、こどもと子育て世代の保護者への情報提供を図ります。
有明こども	湾岸地域に関する資料展示や施設紹介を行います。

施策の体系

- 1.こども
- 2.多様性・包摂・共生
- 3.学び・探求・安心の場
- 4.地域・歴史・文化・郷土

5.図書館 DX

基本目標 5

DX を活用した積極的な情報発信と利便性の向上

方向性 1

デジタル化による資料の充実

貴重な資料を保存・継承するとともに、より多くの人々がアクセスできる環境を整え、時間や場所にとられない読書環境を提供することで、図書館サービスの利便性を高めます。

施策 33 : 貴重資料のデジタル化及び公開

デジタル化することで保存性とアクセス性の両面を向上させ、地域独自のコンテンツとして地域の価値を広く共有するため、アーカイブ化及び公開について検討します。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 3-19:貴重資料の保存・活用の推進	図書館	—

図書館名	内容
江東	図書館で所蔵する貴重資料や学童集団疎開資料室関係資料を電子化し、独自コンテンツとして電子図書館に掲載します。
東雲	江東区公式 YouTube チャンネルにて『読み聞かせ「亀戸物語 I 香取神社」～下町のパワースポットとは』を継続して公開し、郷土資料を閲覧する機会を提供します。
砂町	利用者向け情報のデジタル化およびアーカイブ化について検討します。
東大島	資料のデジタル化技術を習得し業務に活かせるスタッフの育成を検討します（準デジタルアーキビスト資格取得講座等）。

施策 34 : 電子書籍の拡充・活用

都内自治体の平均的なコンテンツ数である 1 万点を目安として電子書籍の充実を図り、選択肢を豊富にすることで図書館への関心や読書の楽しみを深める機会を提供します。

また、障害者サービスや多文化サービス等利用者の事情に配慮したコンテンツを充実させることで、すべての区民が気軽に図書館を利用できる環境を整備します。

図書館名	内容
江東	コンテンツ数 1 万点に向けて、多様なジャンルのコンテンツを収集し、段階的に電子書籍を充実させます。
江東	区立小学校・中学校・義務教育学校に通う 3 年生以上の児童・生徒へ電子図書館専用 ID 及び学校向け利用案内を配布し、区内の児童・生徒の利用を促進します。
江東	江東区民まつり中央まつりで電子図書館体験会を開催し、操作説明や電子図書館の特性を生かした資料を紹介し、利用拡大に取り組みます。
東陽	利用促進のため、電子図書館教室を開催します。
東陽	学校訪問時に電子図書館の普及活動を行います。
東雲	電子図書館の利用促進のため、学校訪問などで電子図書館の普及活動を行い、ポスターやサイネージで情報を発信していきます。
古石場	タブレット講座を開催し電子図書館を周知・利用を促します。
古石場	近隣の小学校で電子図書館説明会を開催し利用を促します。
城東	利用案内や掲示などでことう電子図書館の普及活動を進めるとともに、小学生の学校訪問等での電子図書館の普及活動を行い、利用拡大を目指します。
東大島	学校訪問などを通じて電子図書の利用促進の PR を実施します。また学校司書との連携を通じて児童学童に向けた活動についても取り組みます。
こどもプラザ	ことう電子図書館の更なる普及に向けた P R 事業として「電子図書館はじめてタイム」を実施します。

方向性 2

積極的な情報発信・収集

図書館イベントのほか、地域に関する様々な情報（暮らしに役立つ情報や、地域の取り組み、子育て・福祉・教育に関する情報など）を発信することで、住民の生活を支えます。

施策 35 : 関係機関と連携した情報発信

企業や近隣施設、行政機関などとの連携により、情報発信を行い、積極的に地域へ出向き、地域課題の適切な把握に努めることで、地域における情報拠点としての役割を果たします。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	重点-26:多様な情報の提供	図書館	—

図書館名	内容
江東	図書館情報誌「ことらいぶ」を発行し、HP 等でも情報の発信を行います。イベントを開催する際には「ことらいぶ」を配布します。
江東	江東区他部署や関連施設と連携して資料の展示を行い、併せてパンフレットやノベルティの配布を行って情報提供を行います。 区の関連部署と連携し、区政の諸課題をテーマにした展示を積極的に行います。
深川	区の関連部署と連携し、区政の諸課題をテーマにした展示を積極的に行います。
東陽	江東区経済課と連携し、江東区内の地域企業を盛り上げるプロジェクト「江東ブランド」認定企業のパネル展示を開催します。同時に企業情報を収集、提供します。
東雲	子育て世代の利用が多い地域性に対応し、地域の児童イベントなどのチラシ・ポスターを積極的に配布・掲示します。
東雲	図書館が入居するマンションや近隣施設と連携し、イベントのサポートをするなど相互の取組を展開します。
古石場	東京保健医療専門職大学や児童館・文化センターなどの催しに連携・参加することで図書館利用を促進し情報を発信します。
城東	デジタルサイネージを活用し、自治体と連携した情報や地域と連携した情報を発信します。
亀戸	近隣施設、関係機関と連携し、図書館以外の情報発信を行なえる様、努めます。

図書館名	内容
砂町	デジタルサイネージを活用し、館内情報、イベント案内、地域に関する情報をタイムリーに発信します。
東大島	独自に作成した広報紙「島びより」を近隣施設に配架してもらうよう協力を依頼し、図書館PRを行います。（中川船番所資料館、東大島文化センター、旧中川水彩パークなど）
東大島	船番所資料館や文化センターなどに関する情報案内や催事案内を、サイネージ利用で適宜行えるよう検討します。
こどもプラザ	絵本・児童文学・YA作家の講演会事業や「ライトノベル展」では、SNSやホームページを活用した作家本人・出版社による発信との相乗効果も図り、情報発信の更なる強化につなげます。
こどもプラザ	小学校PTAのご協力のもと、PTA内のWeb連絡網などを通じての事業開催ご案内など、情報発信の拡大を図ります。
こどもプラザ	おもちゃ病院の告知にあたっては、ボランティア団体側のホームページ等での情報発信も仰ぎ、こどもプラザへの来館を促すなど、開催事業連携先と協力した多角的な情報発信を図ります。
有明こども	近隣施設と連携し相互のイベント情報の発信を行います。

施策 36 : 対象者に合わせた情報発信の展開

図書館のサービスやイベント情報などについて、従来の広報媒体に加え、多様な SNS の活用や様々な媒体を活用し、情報の届け方を利用者やターゲット層の属性や関心に応じて柔軟に工夫していきます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	重点-24:ホームページ等の充実	図書館	—
経営方針	全体	重点-25:ICT の活用	図書館	—
第三次	乳幼児	No6:図書館情報の発信	図書館	—
第三次	乳幼児	NO8:保護者への情報発信	保育課、指導室(幼稚園)	—
第三次	小中学生	No7:図書館情報の発信	図書館	—
第三次	高校生等	No5:図書館情報の発信	図書館	—

図書館名	内容
江東	館内掲示物に図書館公式 X (旧 Twitter) の QR コード掲載、SNS やホームページ等の広報媒体を活用した情報発信等を実施します。
深川	図書館ホームページや公式 X を活用し、イベント情報や図書館からのお知らせなどを積極的に発信します。
東陽	館内掲示のカレンダー、サイネージを利用しておはなし会の開催日程を周知します。小学生には学校訪問時に案内を配布します。
東陽	図書館広報誌「TOyo LIbrart POST」を発行し、利用者がこれまで興味を持っていなかった資料やトピックに関心を持っていただける情報の発信を行います。
東陽	イベントや展示の情報が様々な利用者層に届くよう、図書館 HP、X、区報、館内ポスター、デジタルサイネージ等の方法で情報発信を行います。
豊洲	枝川図書サービスコーナー周知のため、利用時間やサービス内容などの紹介コーナーを常設します。
豊洲	地域の小学校等と連携し、ポスター掲示やチラシ配布など、枝川図書サービスコーナーの利用促進を目指します。
豊洲	小冊子『枝川の本棚』を発行し、図書館員が世代別に選んだ新刊図書を紹介します。
豊洲	イベント報告を SNS 等で行い、参加されなかった方にも雰囲気を感じていただける工夫をします。
豊洲	自主制作の図書館案内動画を豊洲シビックセンター等のデジタルサイネージで放映します。
豊洲	学校の一人一台端末を活用しながら、児童向けプログラミング講座を開催します。

図書館名	内容
東雲	イベント、展示、棚移動や模様替えなど、図書館の活動をホームページ、SNS、館内設置デジタルサイネージを活用し、幅広く紹介していきます。
東雲	Xにて「毎日しのにゃあ」と題し、豆知識やフレッシュな情報を毎日発信していきます。
古石場	デジタルサイネージや館内掲示板に加え X などを用いて利用案内やイベント情報などを発信します。
城東	館内掲示の工夫の他、広報紙「らびとだより」や SNS を通じておはなし会への参加を促進します。
城東	幼児・小学生向け図書館だより「らびとだより」、中学生・高校生向け図書館だより「らびと通信」を発行し、図書館情報の発信、利用者の図書館利用促進に努めます。
城東	館内のデジタルサイネージを使い、図書館開館日のやイベント情報など図書館情報の発信を行います。
城東	図書館 HP、城東図書館公式 X アカウントを活用し、スピード感のある情報発信に取り組みます。またこうとう区報でも情報発信を行い、幅広い世代に行き渡る情報発信に取り組みます。
砂町	図書館 X (旧:Twitter) を活用し、スピード感のある情報発信に取り組みます。
東大島	乳幼児、保護者向け、おすすめ絵本の配信、おはなし会やお楽しみ会のといった案内等を X にて配信します。小中学生、高校生向けにはインスタ、X の利用を検討します。
東大島	非来館サービスの拡大に向けて、イベントの ZOOM を活用した同時配信を検討します。
こどもプラザ	乳幼児保護者向けおよび児童向けの図書館だよりを毎月、YA 向け図書館だよりを隔月で発行して、新刊情報・おすすめ本・イベント情報など、こまやかな情報発信を行います。
こどもプラザ	妊娠期の親と家族に寄り添った図書館だより（プレママ、プレパパ向け）を発行し、子育ての不安や悩みの解消支援、関連本紹介、子育て支援コーナーの利用促進に努めます。
こどもプラザ	初めての孫を授かったおじいちゃん・おばあちゃん向けの図書館だより「ぶれじじ・ぶればば」を発行し、参考図書や読み聞かせに役立つ絵本を紹介します。
こどもプラザ	全ての世代・地域の皆様に向けて、「こどもプラザNEWS ふくちゃんplus（季刊）」を発行し、図書館および子ども家庭支援センターの事業や、共同事業の開催告知および報告等の広報活動を行い、町会、学校、PTAなどの地域団体へも情報発信します。

図書館名	内容
こどもプラザ	こどもプラザのY o u T u b eチャンネルを活用してイベントの開催報告などを配信し、デジタル媒体の特性を活かした、より広く・より届きやすい情報発信の強化を図ります。
有明こども	図書館だより「ありぼーダイアリー」を発行し、図書館情報やおすすめ本などの情報を発信します。
有明こども	図書館の魅力を発信するため、X（旧：Twitter）やホームページの情報発信を充実します。
有明こども	デジタルサイネージを活用し、イベントやおはなし会を視覚的にPRします。

施策 37 : DX を活用したシステムの更新および利便性の向上

デジタル技術の活用によるシステムの更新について、利用者ニーズを把握しながら、ホームページのデザインなど、利用者にとって使いやすく、職員にとって効率的な運営体制を進めていきます。

旧計画	対象	内容	主管課	関係課
経営方針	全体	柱 1-2:図書館システムの充実	図書館	—

図書館名	内容
江東	令和 8 年度にプロポーザルを実施し、次期システムの整備に向けた、利便性向上に資する機能面の精査や新たなサービスの導入などの検討をします。
砂町	ホームページの活用促進のため、イベントに関する案内や報告を積極的に実施するとともに、写真等を活用して楽しく見てもらえる工夫をします。
東大島	イベントカレンダーのこまめな更新を実施します。
こどもプラザ	「こどもプラザ」施設ホームページを随時更新し、イベントに関する案内や報告を積極的に情報発信します。その他、デジタルサイネージ、SNS (X) 等を活用し、スピード感のある情報発信に取り組みます。
こどもプラザ	イベント参加申込みについては、利用者の公平性を期し、参加希望者の利便性を考慮して、L o g o フォーム応募の抽選制/先着順を適時活用、一部事業ではカウンター、電話による募集も並行します。

方向性 3

住民の図書館ニーズの把握

住民の声を反映したサービスを展開することで、利用者の満足度が高まり、限られた資源の中で最大限の効果を発揮できるよう図書館ニーズを把握していきます。

施策 38 : 図書館に関する意見集約と分析

学校・学校図書館との意見交換や利用者アンケート、イベント時のフィードバックなど意見を集約し、図書館の現状や課題を把握します。また、専門的立場からの分析・評価の導入も検討します。

図書館名	内容
江東	イベント時のアンケート回収・分析や利用者アンケートの実施・分析を行い、図書館運営やイベント運営の改善に活用します。
東陽	利用者アンケートやイベントアンケートを実施・分析し、利用者のニーズを把握して図書館運営に反映します。
東雲	利用者アンケート、各イベントでのアンケート、SNS を利用した意見の募集などを参考に、満足度が高まるサービスを計画していきます。
古石場	近隣学校と積極的に意見交換し課題を把握します。
古石場	利用者アンケートやイベント実施時のアンケートを分析し、より良い図書館運営を目指します。
城東	イベントごとにアンケートを実施して分析を行い、よりニーズの高いイベントを計画、実行していきます。
城東	図書館への手紙、利用者アンケートでいただいたご意見を分析し、質の高い図書館運営へと繋がります。
亀戸	各イベントアンケート等に加え、学習室開放の統計を分析し図書館ニーズを把握し運営を行います。
砂町	利用者アンケートや各イベント毎のアンケート結果に基づき、現状課題の認識と分析、および改善に向けた施策を実施します。さらに、利用者からの直接的および間接的（図書館への手紙等）なご意見に対しては真摯に受け止め、必要な案件についてはスピーディに改善を図ります。

図書館名	内容
東大島	イベント時のアンケート回収・分析や利用者アンケートの実施・分析を行い、図書館運営やイベント運営の改善に活用します。
こどもプラザ	こども向け複合施設として、子ども家庭支援センターと共同で地域住民の方との意見交換会を年1回開催し、更なるサービス向上に活かします。
こどもプラザ	多様なイベントに参加される利用者にアンケートを実施して意見を収集し、今後の事業開催の企画に活かします。
こどもプラザ	子ども家庭支援センターと共同で「こどもプラザ実行委員会」を定期的に開催して、こどもたちから忌憚のない意見を収集し、施設の運営に活かします。
こどもプラザ	広く、かつタイムリーにこどもたちの声を汲み取るため、各階に「ミニご意見箱」を設置します。収集した意見は検討し、サービス向上に繋がるよう活用します。
有明こども	事業実施にあたりアンケートを行い、参加者の意見を反映します。

目標（指標）

主要指標

① 読書率（1ヶ月に1冊以上本を読んだこどもの割合）

	R7 (現状値)	R8	R9	R10	R11	R12 (目標値)
小学2年生	89.7%					
小学5年生	91.0%					
中学2年生	78.4%					

※R7 数値は図書館ビジョンアンケートより

② 図書館来館者数（江東区長期計画）

	R6 (現状値)	R7	R8	R9	R10	R11	R12 (目標値)
来館者数 (千人)	3,427						3,770

③ 図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合（江東区長期計画）

	R6 (現状値)	R7	R8	R9	R10	R11	R12 (目標値)
満足度	73.8%						80.0%

本ビジョンにおける指標値（②③）は、区の長期計画に定める目標値と整合を図っています。
ただし、策定時期の違いにより、本ビジョンでは長期計画の目標年度より1年後を達成年度としています。

個別指標

①本を読むのが「とても好き」「好き」な児童生徒の割合（こうとう学びスタンダード定着度調査）

柱 1	対象	R7 (現状)	R8	R9	R10	R11	R12 (目標)
	小学 5 年生	72.6%					85%
	中学 2 年生	55.1%					72%

②図書館の接遇に満足している区民の割合（図書館利用者アンケート調査）

柱 2	R7	R8	R9	R10	R11	R12 (目標)
	84.5%					85%

③図書館が居心地の良い空間となっていると感じる区民の割合（図書館利用者アンケート調査）

柱 3	R7	R8	R9	R10	R11	R12 (目標)
	78.5%					80%

④地域に関わる講座・イベントの実施回数（サービス計画実績）

柱 4	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12 (目標)
	32 回						36 回

⑤図書館 HP を使いやすと感じる区民の割合（図書館利用者アンケート調査）

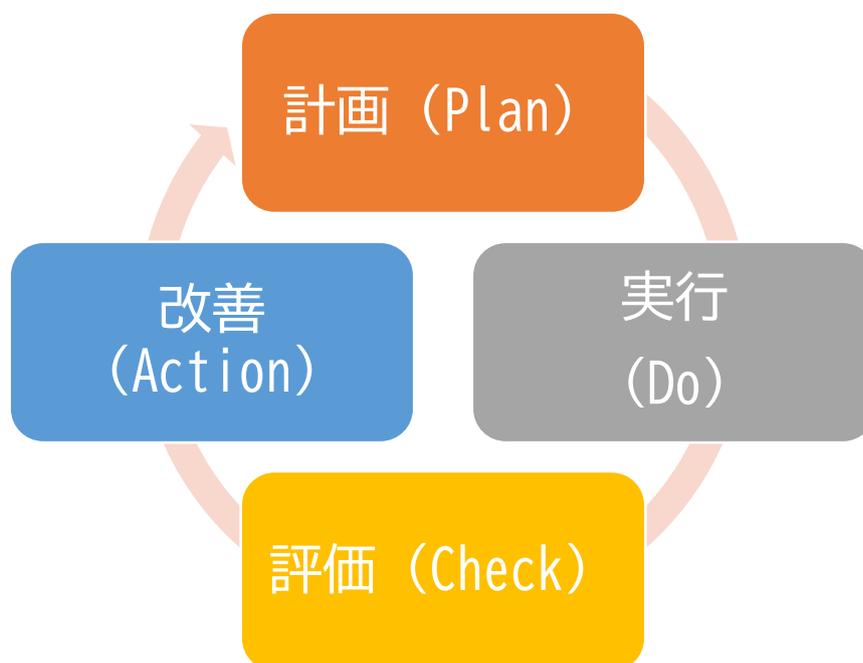
柱 5	R7	R8	R9	R10	R11	R12 (目標)
	55.8%					70%

計画の進行管理

計画は、計画【Plan】、実行【Do】、評価【Check】、改善【Action】のサイクルにより着実に推進します。

本計画の取組を確実なものとするには、より具体的な行動計画を作成する必要があります。そのため、毎年度、各図書館で具体的な取組内容を設定し、それらを取りまとめたサービス計画を策定します。年度終了後には、各取組の進捗状況进行评估し、次年度のサービス計画に反映させることによりサービスの向上を図ります。

なお、サービス計画の進捗状況についてはホームページにて公表します。



評価方法

行政評価

サービス計画（毎年度実施）

毎年度策定するサービス計画については、各図書館で一次評価を行ったのち、江東・深川図書館の区職員により二次評価を行います。評価結果は次年度のサービス計画の内容に反映します。

指定管理評価（毎年度実施）

指定管理を導入している図書館については、区職員による運営状況の評価を実施します。評価による指摘事項については次年度以降の運営に反映します。

外部評価

利用者アンケート(毎年度実施)

区立図書館の利用者を対象に図書館の運営に関する満足度・要望を調査します。

江東区立図書館評議会（毎年度実施）

区民等で構成する「江東区立図書館評議会」を開催し、サービス計画の進捗状況や図書館の運営に関しての意見・要望を聴取します。

区民・団体へのアンケート（最終年度に実施）

施策・取組の効果測定と次期計画の策定のため、取組に対する満足度や指標に関わる調査を行います。